

栄区連会配布資料(1月)

資料No. 1
栄警察署

1 栄区内の刑法犯認知件数(暫定値)

	令和6年			令和5年	前年同期比(件)
	12月件数	1～11月末累計	1～12月末累計	1～12月末累計	
全認知件数	36	374	410	342	68
凶悪犯	1	3	4	1	3
粗暴犯	2	24	26	24	2
窃盗犯	20	240	260	205	55
侵入盗犯	0	25	25	35	-10
空き巣	0	2	2	5	-3
その他	0	23	23	30	-7
乗り物盗	8	91	99	53	46
自転車	7	63	70	48	22
オートバイ	1	23	24	4	20
自動車	1	4	5	1	4
非侵入窃盗	11	125	136	117	19
ひったくり	0	0	0	0	0
部品ねらい	1	12	13	11	2
車上ねらい	2	8	10	6	4
自動販売機ねらい	0	2	2	3	-1
その他	8	103	111	97	14
知能犯	9	50	59	53	6
詐欺	5	42	47	52	-5
その他	4	18	22	1	21
風俗犯	0	11	11	6	5
その他の刑法犯	5	45	50	53	-3
占有離脱物横領	0	1	1	2	-1

(暫定値のため数値が変動する可能性があります)

※ 参考事項

- 凶悪犯 ～ 殺人、強盗、放火など
- 粗暴犯 ～ 暴行、傷害、恐喝、脅迫など
- 窃盗犯
 - ・ 侵入盗 ～ 空き巣、忍び込み、事務所荒し、金庫破り、出店荒しなど
 - ・ 乗り物盗 ～ 自動車、オートバイ、自転車
 - ・ 非侵入盗 ～ ひったくり、すり、置き引き、万引きなど
- 知能犯 ～ 詐欺、横領、通貨偽造など
- 風俗犯 ～ 強制わいせつ、賭博、わいせつ物頒布など
- その他の刑法犯 ～ 占有離脱物横領、住居侵入など

県内の刑法犯認知件数 令和6年12月末現在(暫定値) 45,719件(前年同期比 +1,873件、+4.3%)

2 栄警察署における刑法犯検挙状況(1月から12月末まで)

	検挙件数	検挙人員	検挙率(%)
刑法犯全体	155	89	57.4%
窃盗犯	102	53	52.0%

3 栄区内における人身交通事故発生状況(1月から12月末まで)

	件数	前年同期比	高齢者関係事故	二輪車関係事故
発生	119	-52	53	45
死者	1	+1		
負傷者	136	-74		

4 特殊詐欺の認知状況

県内における令和6年1月から12月末までの認知(暫定値)

	認知件数	被害金額(約)
特殊詐欺総数	1,999	65億円
オレオレ詐欺	747	43億円
預貯金詐欺	649	6億円
架空料金請求詐欺	204	9億円
融資保証金詐欺	11	500万円
還付金詐欺	270	5億円
その他の手口	9	1億円
キャッシュカード詐欺盗	109	8000万円

栄区内における令和6年1月から12月末までの認知(暫定値)

	認知件数	被害金額(約)
特殊詐欺総数	57	8600万円
オレオレ詐欺	14	4300万円
預貯金詐欺	19	600万円
架空料金請求詐欺	3	200万円
融資保証金詐欺	0	0
還付金詐欺	18	3400万円
その他の手口	0	0
キャッシュカード詐欺盗	3	140万円

5 警察からのお知らせ

- (1) 令和7年、栄警察署では、二輪車・自転車の重点路線として原宿六浦線（環状4号線）を指定しました。

また、高齢者の重点地区として笠間地区を指定し、交通事故防止対策を推進します。皆様のご理解とご協力をお願いします。

- (2) 自転車盗・オートバイ盗が多発しています。

自宅の敷地内やマンション等の駐輪場、買い物等でスーパーやコンビニエンスストアの駐輪場に自転車やオートバイを停める場合は、決して無施錠の状態で停めずに、たとえ短時間であっても必ず鍵を掛けるようにして、盗難の被害に遭わないよう十分に注意してください。

ワイヤー錠等を使ってダブルロックをすると、さらに効果的です。

- (3) 当署管内における金融機関、コンビニエンスストア等による特殊詐欺阻止件数は、12月中の阻止が12件、1月から12月末までの累計は97件。

- (4) 警察官や行政機関職員を騙った特殊詐欺の電話が増加しています。

自宅固定電話、携帯電話に「捕まえた犯人があなたのキャッシュカードを持っていたため、あなたにも容疑が掛かっています」、「医療費の払い戻しがあります。ATMでも操作ができます。」等と連絡があり、アプリケーションやATMで入金させようとする手口の電話が増えています。

このような電話が来たら、詐欺を疑い、最寄りの警察署・交番にご連絡ください。

※ 町内別の街頭犯罪等認知件数(暫定値、1月から12月末まで)

交 番 名	町 名	凶悪犯	空き巣	ひったくり	自動車盗	オートバ イ盗	自転車盗	車上ねら い	詐欺	その他	合計
本 郷 台 駅前	桂 町	1					6		1	10	18
	小 菅 ケ 谷 町										0
	小 菅 ケ 谷 1 丁 目					4	11	1	5	30	51
	小 菅 ケ 谷 2 丁 目								1	8	9
	小 菅 ケ 谷 3 丁 目									2	2
	小 菅 ケ 谷 4 丁 目						1			3	4
	小 山 台 1 丁 目									3	3
	小 山 台 2 丁 目					1			1	1	3
上 郷	犬 山 町								2	6	8
	尾 月		1						2	3	6
	上 之 町							2	1	6	9
	亀 井 町					1				1	2
	桂 台 東					2	1		1		4
	桂 台 西 1 丁 目									5	5
	桂 台 西 2 丁 目								1	4	5
	桂 台 南 1 丁 目								2	1	3
	桂 台 南 2 丁 目								1	2	3
	桂 台 北								1	2	3
	桂 台 中						2			1	3
	公 田 町					1	10	1	4	24	40
笠 間	笠 間 町								1		1
	笠 間 1 丁 目						2			1	3
	笠 間 2 丁 目					2	13			22	37
	笠 間 3 丁 目		1				1		2	7	11
	笠 間 4 丁 目						2		1	2	5
	笠 間 5 丁 目						2		2	4	8
田 谷	田 谷 町				1			1	2	8	12
	金 井 町						2	1		4	7
	長 尾 台 町					1	1		1	2	5

別添資料1

交 番 名	町 名	凶悪犯	空き巣	ひったくり	自動車盗	オートバ イ盗	自転車盗	車上ねら い	詐欺	その他	合計
元 大 橋	元 大 橋 1 丁 目				1		1		1		3
	元 大 橋 2 丁 目					1					1
	中 野 町	1							1	2	4
	若 竹 町									1	1
	柏 陽	1					1		1	2	5
	鍛 冶 ケ 谷 1 丁 目						1		3	1	5
	鍛 冶 ケ 谷 2 丁 目						2		1		3
	鍛 冶 ケ 谷 町										0
元大橋・庄戸	上 郷 町					1	6		3	27	37
上 郷・庄 戸	野 七 里 1 丁 目										0
庄 戸	野 七 里 2 丁 目									1	1
	庄 戸 1 丁 目									1	1
	庄 戸 2 丁 目									1	1
	庄 戸 3 丁 目										0
	庄 戸 4 丁 目								1		1
	庄 戸 5 丁 目									1	1
	東 上 郷 町								1		1
	長 倉 町								1	2	3
豊 田	本 郷 台 1 丁 目								1	1	2
	本 郷 台 2 丁 目						2			2	4
	本 郷 台 3 丁 目									1	1
	本 郷 台 4 丁 目								2	3	5
	本 郷 台 5 丁 目								1	2	3
	飯 島 町	1			2	8	2	3	8	21	45
	長 沼 町				1	2	1	1	2	5	12
合 計		4	2	0	5	24	70	10	59	236	410

栄区内の火災・救急状況について

区連会1月定例会資料
令和7年1月20日
栄 消 防 署

火災情報

令和6年12月31日現在

栄 区 内					
火 災 発 生 状 況					
年 別	令和6年		令和5年	増△減	
	12月	累計			
件 数	1	20	18	2	
火 災 種 別	建 物	0	13	13	0
	林 野	0	0	0	0
	車 両	1	5	0	5
	船 舶	0	0	0	0
	航 空 機	0	0	0	0
	そ の 他	0	2	5	△3
損 害	焼損床面積	0	221	65	156
	死 者	0	1	0	1
	負 傷 者	0	6	6	0

横 浜 市 内					
火 災 発 生 状 況					
年 別	令和6年	令和5年	増△減		
件 数	678	733	△55		
火 災 種 別	建 物	457	438	19	
	林 野	0	0	0	
	車 両	59	87	△28	
	船 舶	0	2	△2	
	航 空 機	0	0	0	
	そ の 他	162	206	△44	
損 害	焼損床面積	6,869	9,227	△2,358	
	死 者	25	15	10	
	負 傷 者	108	117	△9	

主 な 出 火 原 因				
	種 別	令和6年	令和5年	増△減
1	こんろ	4	3	1
2	配線器具	3	0	3
3	電気機器	3	3	0
4	火あそび	2	0	2
5	放火（疑い含む）	2	3	△1

主 な 出 火 原 因				
	種 別	令和6年	令和5年	増△減
1	放火（疑い含む）	115	115	0
2	たばこ	110	125	△15
3	こんろ	84	81	3
4	電気機器	76	74	2
5	配線器具	29	44	△15

※本年数値は速報のため変更する場合があります。

栄区連合町内会別火災発生状況 *（ ）内の数字は今月分					
豊田地区	8		本郷第三地区	1	
笠間地区	0		上郷西地区	0	
小菅ヶ谷地区	3		上郷東地区	2	
本郷中央地区	2		連合未加入	4	(1)
合 計				20	

【12月中の火災】

12月22日 笠間一丁目 JR車両内モバイルバッテリー1器他焼損

救急情報

令和6年12月31日現在

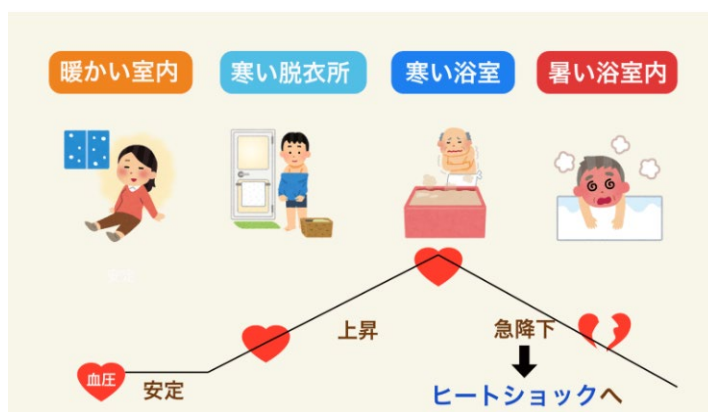
栄 区 内				
救 急 状 況				
年 別	令和6年		令和5年	増△減
	12月	累計		
件 数	823	8,127	8,019	108
急 病	593	5,980	6,007	△ 27
交 通 事 故	19	218	224	△ 6
一 般 負 傷	167	1,535	1,442	93
そ の 他	44	394	346	48

横 浜 市 内				
救 急 状 況				
年 別	令和6年		令和5年	増△減
	12月	累計		
件 数	256,481	254,636	1,845	
急 病	180,587	181,882	△ 1,295	
交 通 事 故	9,339	9,141	198	
一 般 負 傷	46,933	44,776	2,157	
そ の 他	19,622	18,837	785	

※ 本年数値は速報のため、変更する場合があります。

家の中の温度差に注意！！

寒い日の暖房の効いた暖かい部屋から、脱衣所やトイレに行くと思わず”ゾクッ”と震えてしまったことはありませんか？ それがヒートショックのシグナルです！



ヒートショックとは？

暖かい部屋から寒い部屋への移動など、急激な温度の変化が体に与えるショックのことです。

このことで、血圧が変動すると心臓に負担をかけ、心筋梗塞や脳卒中等を引き起こしやすくなります。

ヒートショックは脱衣所や浴室内、冬場の冷え込んだトイレ、洗面所など極端な温度差がある場所で起きています。

お風呂に入る時は、次のことに気をつけてください！

- ・入浴前に脱衣所や浴室を暖めておく
- ・入浴前後に水分を補給する
- ・湯温は41℃以下、お湯につかる時間は10分まで
- ・浴槽から急に立ち上がらない
- ・食後すぐの入浴や飲酒後、医薬品服用後の入浴は避ける
- ・お風呂に入る前に、同居する家族にひと声かける
- ・家族は入浴中の高齢者の動向に特に注意する



お問合せ先：栄消防署総務・予防課 ☎/FAX 892-0119

LIVE 映像通信システム(映像 119)について【情報提供】

～防災訓練での活用について～

1 趣旨

横浜市消防局では令和 5 年 2 月から「LIVE 映像通信システム(映像 119)」という新しい取り組みを始めています。

LIVE 映像通信システム(映像 119)とはスマートフォンを介して通報者の方と消防司令センターの間で、映像の送受信ができる仕組みです。

実際に、このシステムを活用し、傷病者の状況を司令センターで確認しながら適切な口頭指導を実施し、傷病者が社会復帰された事案もあります。

今後、地域で防災訓練を行う際は、新たな訓練メニューとして是非このシステムをご活用ください。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で周知をお願いします。

【単位会長】単位会長あてチラシを送付します。定例会等で周知をお願いします。

防災訓練で活用される場合は消防署にご相談ください。

3 防災指導の申込方法

栄消防署総務・予防課予防係にお問合せください。

4 訓練の内容

消防職員立ち合いの元、「LIVE 映像通信システム(映像 119)」で通報者と消防司令センターをつなぎます。(訓練時間は 3 分程度となります)

訓練では実際の通報と同じ手順を体験していただきます。

【実際の 119 通報の流れ】



※このシステムは使用に際して
事前登録、アプリ等を必要とし
ませんが、動画の送信には通信
料がかかります。

なお、119 番通報を受けた
指令管制員が必要と判断した
場合に案内を行います。

システムについてご不明な点
は消防局司令課までお問合せ
ください。

栄消防署総務・予防課 予防係
担当：新倉、井上、伊藤
電話：045-892-0119 /FAX 045-892-0119
Mail：sy-sakaeyobo@city.yokohama.lg.jp

大切な人の命を守るために 映像119 始めました

映像119とは？

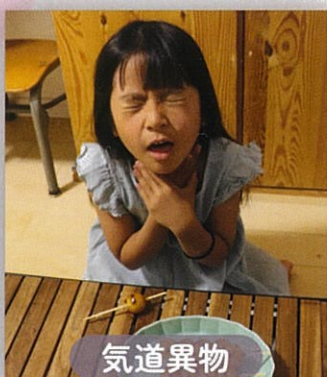
スマートフォンを利用して災害や救急現場の映像を送信できます。

救急車が到着するまでの適切な対処方法を映像で配信します。

～救急車が到着するまでにできること～



熱性けいれん



気道異物



映像119でリアルタイムに映像を送信

対処方法を映像で配信

司令室

救急車が到着するまでの間に
適切な対処方法を配信します

- 熱性けいれん
- 胸骨圧迫(心マ)
- 気道異物除去

※随時追加していきます



アプリ不要



スマートフォンで
利用可能です



火事や災害の映像を
消防隊へ情報提供し
迅速的確な活動に繋がります



届いたショートメッセージに記載の
URLをタップするだけで
利用可能です



GPSを有効にすることで
位置情報が消防局に送られます

※システムの利用料は、通報者負担となりますのでご了承ください

横浜市消防局司令課

TEL 045-334-6725 FAX 045-334-6720 Mail sy-shirei@city.yokohama.jp



ヘリコプター離着陸訓練の実施について【情報提供】

1 事業の趣旨

金井公園多目的広場において横浜市消防局のヘリコプターが離着陸訓練を行いますのでお知らせします。なお、この訓練では機体の見学や説明を行いますので、お気軽にお越しください。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】 ご承知おきください。

【地区連長】 ご承知おきください。

【単位会長】 ご承知おきください。

3 訓練の概要

(1) 実施日時

令和7年2月3日（月）午前10時から午前11時30分まで

※当日の天候状況や災害の発生等により、急きょ訓練が中止となる場合があります。

(2) 場所

金井公園多目的運動広場（横浜市栄区金井町 315 番地）

※大規模災害や負傷者搬送などヘリコプターが活動するために「飛行場外離着陸場」として指定されています。

(3) 実施団体

栄消防署、栄消防団、航空消防隊、横浜緑地株式会社（指定管理者）

(4) その他

ヘリコプターの飛来により騒音等が発生するため、近隣の方へ「チラシ」のポスティングを行い、公園利用者には、立て看板を設置してお知らせします。

過去の訓練の様子



区連合 1 月定例会説明資料
令和 7 年 1 月 2 0 日
栄区社会福祉協議会

各自治会町内会 会長 様

社会福祉法人
横浜市栄区社会福祉協議会
事務局長 室井 慶之

「さかえ区社協だより第 6 1 号」の全戸配布について（協力依頼）

1 事業の趣旨

「さかえ区社協だより第 6 1 号」の発行に伴い、本会事業や会員団体等を広く市民にお知らせするため、自治会町内会を通じて、全戸配布をお願いいたします。

2 お願いしたいこと

- 【区連長】ご承知おきください。
- 【地区連長】ご承知おきください。
- 【単位会長】ご承知おきください。

3 「さかえ区社協だより第 6 1 号」の概要

（1）送付時期

令和 7 年 1 月下旬（「広報よこはま栄区版」2 月号と同時期）

（2）内容

○体裁（別紙今年度資料）

A4版 6ページ ※ボランティア情報紙そら第124号を差し込んでいます。

○紙面

- ・「地域で育てよう！思いやりの芽」
- ・「五感で学ぼう！高齢者疑似体験」「えびっどの出前講座」
- ・「会員団体」活動訪問記
- ・第 3 6 回栄区社会福祉大会
- ・令和 7 年度さかえふれあい助成金説明会
- ・能登町災害ボランティアセンター派遣報告

○ボランティア情報紙そら第124号

- ・ボランティア活動の紹介
- ・赤い羽根共同募金とボランティア活動の関係について

社会福祉法人
横浜市栄区社会福祉協議会
担当 小沼
電話 045-894-8521 FAX 045-892-8974
メール office@sakaeku-shakyo.jp

区社協からのご案内

能登町災害ボランティアセンター派遣報告

社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会 平野慶太郎

1995年の阪神淡路大震災では、延べ100万人を超えるボランティアが被災地に駆けつけたと言われています。この際、ボランティアの振り分けがうまくいかず、効率的な被災地支援活動という点において課題が残りました。これらを踏まえ、災害ボランティアの活動を円滑に進めるために被災地に設置される拠点として「災害ボランティアセンター」の整備が進められ、その設置運営主体が社会福祉協議会となっています。

今回、能登町災害ボランティアセンターへ派遣されたのは7日間で、全国から集まるボランティアと、ボランティアを必要とする依頼者のコーディネートを行いました。依頼は、家財の解体、瓦や畳の搬出、地盤沈下により浸水した住宅の泥かき等が散見されました。「ふだんの暮らし」に一步でも近づけるようにボランティアと一丸となってセンター運営を行いました。

今回の派遣を通して、『家財の転倒防止や食料のローリングストック等の重要性』、『人や地域とのつながりは、防災や発災後の見守りに直結』すると痛感いたしました。これからも誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくっていきましょう。



令和7年度 さかえ ふれあい助成金説明会

さかえ ふれあい助成金は、区民同士の支え合い活動によるボランティア活動など、地域福祉保健に貢献する事業の支援を目的としています。

募集にあたり、説明会を次のとおり開催します。

日時：① 令和7年3月12日(水) 10時～
② 令和7年3月13日(木) 14時～
③ 令和7年3月15日(土) 10時～
(①、②、③とも、同一内容です)

場所：ピアハッピー栄

申込方法：WEBフォームにて申込み、または団体名、参加者氏名、電話番号、希望日をお電話またはFAXにてご連絡ください。

申込締切：2月21日(金)

※会場の都合上、各団体1名の参加をお願いします。



←こちらを読み取り

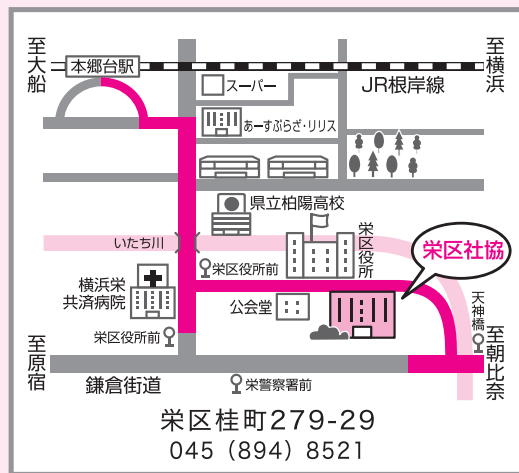
お願いします。



本誌は、区民の皆様から寄せられた共同募金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力で全世帯にお配りしています。

【栄区社会福祉協議会広報編集委員】
豊田(吉野 恵子) 笠間(田中 貞代)
小菅ヶ谷(野村 伸子) 本郷中央(長沼 勲)
本郷第三(寺本久美子) 上郷西(渡邊 晶)
上郷東(菊地 啓子) 栄(おもちや病院 蒲谷 穂)
積み木(中澤 孝子) まさかの会(小橋 弘子)

【編集後記】
お持ちのスマートフォンや携帯電話に防災情報や防犯情報を届ける、メールリリストをご存知でしょうか。
「横浜市防災情報Eメール」に登録すると、横浜市からの緊急なお知らせや気象警報・注意報、地震情報や各種警戒情報が送られてきます。頻発する線状降水帯による豪雨災害や南海トラフ地震情報も気になると思います。
また「栄区役所からの防犯情報メール」からは、区内で発生した犯罪の情報が提供されます。なかなか減らない特殊詐欺や自転車盗難などへの対応策も大事です。
情報があふれる時代ですが、信頼のおける情報源から正確な情報を迅速に入手することがあなたやご家族の安全安心を確保する上で、大変重要だと考えています。
是非、登録することをお勧め致します。
(長沼)



さかえ区社協だより

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0005 横浜市栄区桂町 279-29 ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

電話 045 (894) 8521

Fax 045 (892) 8974

E-MAIL : office@sakaeku-shakyo.jp URL : https://sakaeku-shakyo.jp

No.61

令和7年2月1日発行

地域で育てよう！思いやりの芽

～学校を含めた地域全体で子どもたちの健やかな成長と豊かな心を育む～



かさまゆうわ館で
プールのボランティア

笠間地区更生保護女性会や民生委員などが中心となり、夏休みに親子を対象としたプールイベントを実施。中学生が7～8名参加し、開始前の準備から子どもたちとのプール遊びまで手伝ってくれました。中学生からは、「普段子どもたちと触れ合う機会がないから楽しかった」などの感想が寄せられました。
(笠間)



栄区更生保護女性会が主体となり、小学6年生と中学3年生を対象に「社会を明るくする運動」について作文を書いてもらいました。日頃の家庭生活や学校生活の中で体験したことをもとに、いじめや犯罪のない地域社会づくりなどについて考えたことや感じたことを作文にすることで、改めて更生保護について考える機会を作っています。
(栄区)

「社会を
明るくする運動」の
作文コンテスト



配食ボランティア「積み木」で
お弁当の配達体験

豊田地区主催の「夏ボラ」を通して、2人の中学生がボランティア体験に来てくれました。今年はお弁当の配達を担当してもらいました。お届け先の高齢者のご利用者様も子どもが配達してくれるのを楽しみに待っていていました。中学生にとって貴重な体験になったと思います。
(積み木)

敬老会
でお手伝い

本郷第三地区の慶寿会に中学生が参加しました。高齢者をトイレに誘導したり、片付けのお手伝いをしてくれました。
(本郷第三)



学校での実践事例については
次のページ！

区社協ホームページでも
事業紹介をしています。



詳しくは
コチラ

栄区社協

検索

視覚障害のある方にも広報紙の情報を提供できるように音声訳版をご用意しておりますので、ご希望の方は栄区社会福祉協議会までお問い合わせください。

五感で学ぼう！ 高齢者疑似体験

12月18日(水)、千秀小学校の放課後キッズクラブを利用して小学生を対象に、車椅子体験と高齢者疑似体験を実施しました。今回は豊田地域ケアプラザを通して依頼があり、豊田地区保健活動推進員、ボランティア団体「豊田男塾」の方々にも講師としてご協力いただきました。

高齢者疑似体験では、白内障メガネや軍手をした状態で漫画を読んだり、左右のポケットにおもりが入ったベストを着用しながらマットの上で起き上がるといった日常生活動作を通して、加齢による身体的な変化や不自由さを体感してもらいました。

子どもたちからは、「車椅子が難しかった」「ベストが重かった」など、ありのままの意見を聴くことができました。また、「おばあちゃんやおじいちゃんがこの状態で生活していることを初めて知った」「困っていたら助けてあげたい」という感想も挙がりました。

高齢化は誰もが避けることはできません。今後も高齢者に対する理解と思いやりの心をもって、福祉の芽を大切に育みます。



小学校の放課後キッズクラブにて
実施しました



会員団体
活動
訪問記

「横浜栄共済病院」～地域とのつながりを大切に～

栄区民にとって一番身近な総合病院である横浜栄共済病院に訪問させていただきました。通院や入院、入退院時等に面談や相談支援をしてくださる「患者サポートセンター」でお世話になっているだけでなく、普段から様々な形で地域とのつながりを大切にされています。SAKAESTA などでの出張講座等で知っているという方もおられるのではないのでしょうか。



今回は11月16日に防災訓練が行われたばかりということで「防災」をキーワードに様々なお話を聞かせていただきました。



(左から、山本課長、安西事務部長、渡邊副院長、坂本事務部長)

災害時の病院としての備えをお伺いすると、「地下水をくみ上げ浄水にするシステム」「3日分の非常用電源」「ガスコージェネレーションシステム」の用意があるとのことでした(それらは手術室や透析、生命維持機器利用など患者用が優先)。また、発災した際には職員の安否確認システムがあるだけでなく、病院に参集できるかなど、発災を想定した具体的な訓練を行い確認しているそうです。

「災害の際には、怪我をした方などの受け入れ等も発生しますし、トイレなど施設を借りに来る地域住民もいると考えられます。区役所や消防、警察、そして区社協などを含めた大きな防災ネットワークのなかでの役割や地域との連携については、栄区医師会や総合病院としての役割を踏まえつつ、これからより具体的な話し合いを進めていけるとよいと思っています」、というお話でした。

防災や発災時の横浜栄共済病院の役割は、区民としてもとても気になるところです。今後の防災ネットワーク全体の動きも含めて注視していきたいと思いました。

お忙しい中、掲載しきれないほど様々なお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。

(野村・小橋)

えびっどの出前講座

劇を通して、
「すべての人はちがう」を伝えています

栄区自立支援協議会では福祉・学校・医療等の関係機関が相互の連携を図りながら、地域課題に対し8つの部会を設け活動をしています。その中のひとつがえびっどが行なう出前講座です。

出前講座では、近年増えつつある発達障害の特性を持つお子さんへの理解に向けて、“障害”ではなく“個性のちがい”という視点から、考えるきっかけを提供しています。

「すべての(Every)人(Person)は(Is)ちがう(Different)」という英語の頭文字から“えびっど(EPID)”という名称で知ってもらえるようになりました。

「十人十色なカエルの子」を題材にしたパペット風の劇には生徒さんたちがロールプレイのかたちで参加し、“自分ならどうする”を伝えてもらっています。相手の気持ちを考え、接し方を工夫することでお互いが心地よく過ごせるということをいっしょに考える機会となっています。

現在は小学校低学年を中心に実施していますが、今後は高学年や中学校、地域の方々に向けても活動を広げていきたいと思っています。

出前講座をご希望の方、また、ご興味のある方、いっしょに活動に参加して下さる方々を広く募集しています。



子どもたちが健やかに学校や地域の中で自分らしく過ごしていけるよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



活動者募集中!!

●●●●●基幹相談支援センター問い合わせ先●●●●●

担当 佐川・小杉

電話 045(890)6601

E-MAIL sakaejiritsukyo@houmon-no-ie.or.jp

第36回栄区社会福祉大会



令和6年11月27日(水)第36回栄区社会福祉大会(主催:栄区社会福祉協議会、栄区内7地区社会福祉協議会)を栄公会堂で開催しました。

今年度は、“『情熱ないり区』～栄を支える功労者たち～”と称し、第1部では写真などを用いて表彰される皆様の活動を視覚的に紹介しました。皆様のこれまでのご功績に対し、心からの敬意とともに感謝の意を表します。

活動紹介はホームページで公開しています。

動画はこちら



●第2部の式典では、次の皆さまが表彰されました。(敬称略・順不同)●

【ボランティア活動功労】

鈴木 宏一
岩谷 智恵子
小野寺 淳子
浦 敦

畑 静子
松田 直美
池田 民雄
吉田 朝代

ブループラネット
遊樂舎
飯島お手伝い隊
みんなの居場所「カフェ・かみの」
特定非営利活動法人 積み木

【福祉団体自主活動功労】

岩田 有利子
藤田 みちる
助川 美枝子

宮川 玲子
竹谷 康生
塚本 忠志

涌井 秀治
三國 隆光



おめでとうございます!

各自治会町内会 会長 様

社会福祉法人
横浜市栄区社会福祉協議会
事務局長 室井 慶之

「第8回栄区フードパントリー」について【報告】

1 事業の趣旨

“食を通じた地域のつながりづくり”を目的として生活にお困りの方を対象としたフードパントリーを実施いたしましたので報告します。

地域住民の皆さまへの周知等にご協力いただきありがとうございました。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】ご承知おきください。

3 第8回栄区フードパントリーの概要

(1) 実施日

令和6年12月7日(土) 10:00~12:00

栄区福祉保健活動拠点(横浜市栄区社会福祉協議会)

(2) 内容

食料等の確保にお困りの方へ食料品等を配布し、専門職による相談対応を実施する。

※その他詳細は別添の報告書をご覧ください。

(3) 参加者

食品をお渡しできた世帯: 68世帯

【内訳】当日会場参加: 49世帯/79名 後日窓口にてお渡し: 1世帯

民生委員・主任児童委員、地域ケアプラザ職員等によるお届け: 18世帯

社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会 担当 荻野 電話 045-894-8521/FAX 045-892-8974 メール office@sakaeku-shakyo.jp

SAKAEフードドライブWEEK



■概要

開催趣旨： 諸事情により生活にお困りの世帯、食料を確保できない世帯を支援するため、区内各所にてフードドライブを実施。「賞味期限までに食べられないかも！」等、ご家庭に眠っている食品をご寄付いただき、「フードパントリー」の参加者にお渡しします。

実施期間： 令和6年11月25日（月）～12月4日（水）

実施場所： 区内19カ所の協力施設

■寄付者／協力者一覧

特別養護老人ホーム 上郷苑

特別養護老人ホーム ライフコートさかえ

特別養護老人ホーム 田谷の里

特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜

特別養護老人ホーム 陽のあたる丘 MISONO

特別養護老人ホーム クロスハート野七里・栄

介護老人保健施設 ケアポート・田谷

介護老人保健施設 リハビリポート横浜

介護老人保健施設 湘南グリーン介護老人保健施設 上郷

本郷中央地区社会福祉協議会

本郷第三地区民生委員児童委員協議会

上郷西地区民生委員児童委員協議会

手話サークル 希

みんなでご飯を食べる会(かさまごはん)

栄区役所・横浜市資源循環局栄事務所・

栄区社協へ個別にご寄付いただいた皆さま



社会福祉法人ル・プリ SELP・杜

社会福祉法人訪問の家 サポートセンター径

社会福祉法人同愛会 リエゾン笠間

特定非営利活動法人こんちえと さかえ福祉活動ホーム

横浜市栄区生活支援センター

栄区内7地域ケアプラザ

野天湯元 湯快爽快たや

JA横浜野菜部 本郷支部

JA横浜「ハマッ子」直売所本郷店出荷者

キオクシア株式会社

株式会社ファンケル

生活協同組合ユウコープ



寄付総数 **3,285点**

総重量 **766 kg**

野菜・おもちゃ・日用品等は除く

vol.08

食べ物を通じてあたたかな繋がりを...

SAKAE | FOOD PANTRY | FOOD DRIVE

報告書



明日の誰かの笑顔のために
“SAKAE”で育む
お互いさまの「ありがとう」

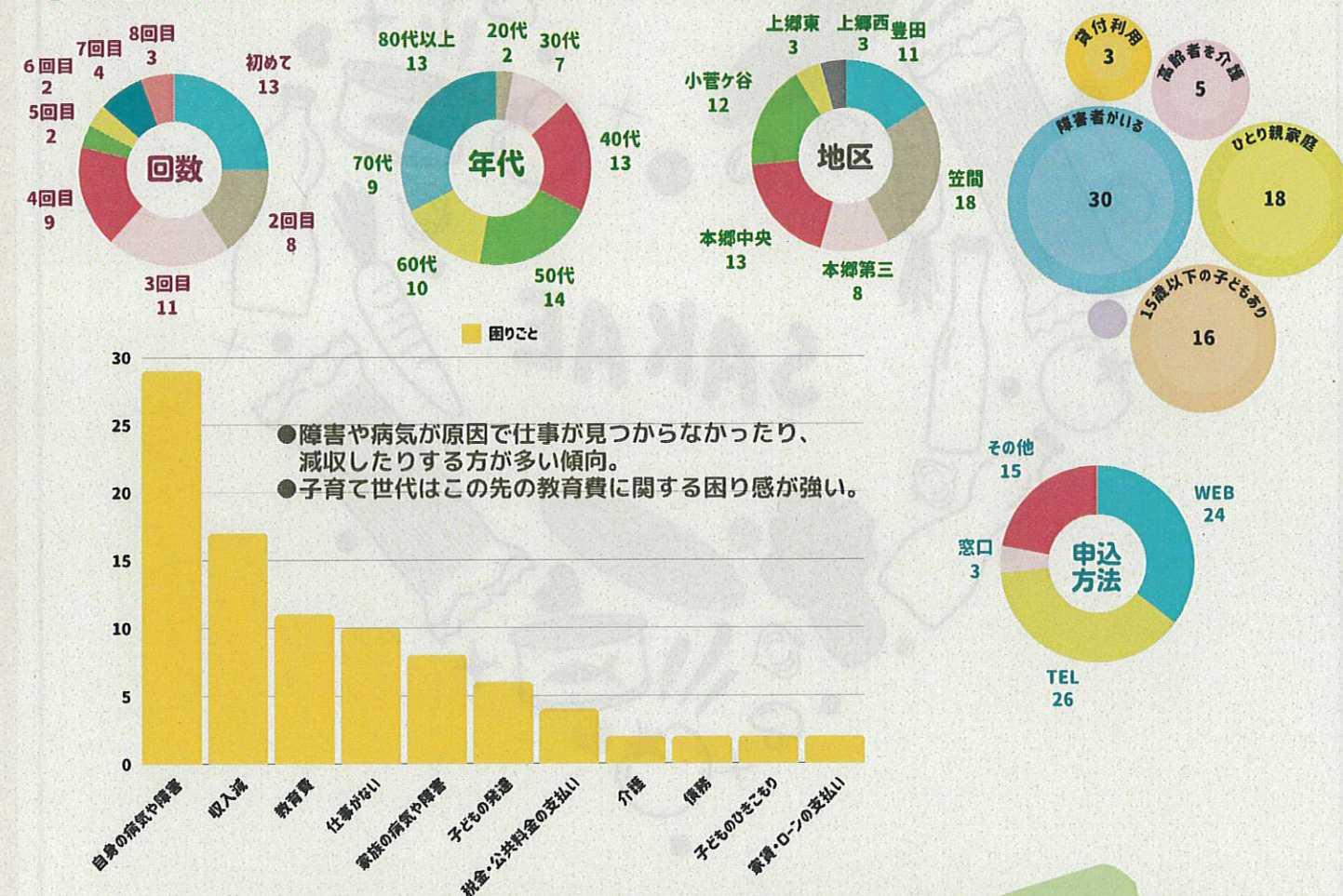
社会福祉法人
横浜市栄区社会福祉協議会

第8回 SAKAEフードパントリー

■概要

- 開催趣旨：** 諸事情により、生活にお困りの世帯、食料を確保できない世帯を支援するため、「食を通じたあたたかなつながり」をテーマに、食料品をお渡しするだけでなく、地域・専門機関との「つながりづくり」を目的として実施。(令和3年度から開催)
- 共 催：** 栄区内7地区社会福祉協議会(豊田、笠間、小菅ケ谷、本郷中央、本郷第三、上郷西、上郷東) 社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会
- 日 時：** 令和6年12月7日(土) 10:00~12:00
- 会 場：** 栄区福祉保健活動拠点(栄区社会福祉協議会)
- 対 象：** 様々な事情により食料等の確保にお困りの世帯
○当日参加者数 49世帯 79名(欠席3世帯) 後日お渡し等 19世帯 合計68世帯
- 申込方法：** 事前予約制(申込期間:11/20~27)
二次元コードによるインターネット申込、電話申込
- 内 容：** ○フードドライブ他、ご寄付いただいた食料品等の配布
○相談コーナー、情報提供ブースの設置

■参加者の傾向 ※回答なしも含まれるため、質問項目ごとの総数は異なります。



参加した感想

- 母子家庭でお金や生活に余裕がないのでとても助かっています。色々な相談を聞いてもらったので気が楽になりました。
- 初めての参加です。色々な物があって選ぶのが大変でした。妻子も喜ぶと思います。皆さんの笑顔に元気付けられました。
- 沢山あってうれしかったです。ヘルプマークを付けていたらお手伝いして下さって、とてもありがたかったです。
- こういった所があることを初めて知りました。生活に困った時、一人で悩まず誰かに相談する大切さを知りました。
- 栄区のとれたてのお野菜、本当に嬉しいです。普段手にしないものもいただけて優しくお声かけしてくれたり、心もほっとする機会でした。ありがとうございます。子どもの学習に関する情報もいただけて参加出来て感謝です。

■準備や当日の様子

①準備

開催2日前から、ボランティアや地区社協の皆さんと一緒に寄付物品をカウント・仕分けしています。力仕事も多いですが、8回目ともなると素晴らしいチームワークでテキパキと作業が進みます。



②当日の様子(食品の配布)

参加された全世帯にお渡しする「基本セット」のほか種類ごとに並べられた様々な食品等を選べます。普段手に取れないような食品を見て喜ぶ姿や、子どもたちの楽しそうな表情が見られました!



③当日の様子(相談対応)

申込時に答えていただいた世帯状況や困りごとを参考に、区社協、地域ケアプラザ、区役所生活支援課の専門職がお話をうかがいます。今回から困りごとの種別を聞いたことで、一人ひとりに寄り添った相談対応・情報提供ができました。



寄付者へのメッセージ

- 食材や会場での対応をありがとうございます。我慢することの多くなった今、久しぶりに心が満たされました。
- 新鮮なお野菜ありがとうございました。たくさんの商品の中から必要な物をいただき幸せな気持ちです。皆様のお心遣いに感謝しています。
- お顔を見てお礼が言えないですが、助けていただいて心よりありがとうございます!
- いつも心あたたまるご支援ありがとうございます。いつか私も何らかの形で地域の方にお返しできる様がんばっていききたいと思います。
- 野菜など最近なかなかカゴに入れにくい物など、とても嬉しかったです。化粧品なども買うよりは子どもにかかる事を優先しがちだったので、ありがたかったです。鉛筆、ノートなどもすぐになくなってしまっているのでとても助かりました。
- 僕たちのことを考えて下さり、ありがとうございます。(参加したお子さんから)



(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン(素案)に関わる
市民意見募集の実施について【情報提供】

1 事業の趣旨

気候変動の影響により全国で水害が激甚化・頻発化しています。

雨に強い安全・安心なまちづくりを進めるため、これからの下水道による浸水対策をとりまとめた「(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン」を新たに策定します。

このたび、計画素案をとりまとめ、市民の皆様から広くご意見をいただくための市民意見募集を行っていますのでご周知をお願いします。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合町内会長会で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あてリーフレットを送付します。定例会等で周知をお願いします。

3 市民意見募集の概要

(1) 募集期間

令和 6 年 12 月 24 日(火) から令和 7 年 2 月 14 日(金) まで

(2) 募集方法

オンライン(横浜市電子申請・届出システム)、電子メール、郵送、FAX

(3) リーフレット配布場所

意見募集用リーフレットを配布するほか、市ホームページに掲載します。

各区役所広報相談係、市役所市民情報センター、

下水道河川局マネジメント推進課

オンライン回答



素案 HP



4 その他

広報よこはま 12 月号でお知らせしているほか、記者発表も行っています。

5 スケジュール(予定)

令和 7 年 3 月 市民意見募集の結果公表

計画公表

6 添付資料

(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン(素案)に関する市民意見募集リーフレット

下水道河川局マネジメント推進課

担当 河本、堀田

電話 045-671-2838 /FAX 045-664-0571

メール gk-management@city.yokohama.lg.jp

(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン（素案）の概要

浸水には、河川が溢れて発生する浸水（洪水）と下水道の排水能力が不足することなどにより発生する浸水（内水）があります。本プランは、気候変動を踏まえた今後の下水道による浸水対策の目標や進め方などを定めた計画です。

ポイント① 雨の強さにより、3段階の目標を設定し、防災・減災対策を進めていきます。

- ◆ **防災対策**：下水道施設を整備する基準となる降雨を 1.1 倍に引き上げ、下水道施設を整備
- ◆ **減災対策**：市民の皆様の生命や財産を守るため、新たに 2 段階の目標を設定し対策を推進
 - ・ 1 時間に 100 ミリの降雨で、床上浸水をできる限り防ぐため、雨水の流出抑制などを実施
 - ・ 1 時間に 153 ミリの降雨で、安全な避難行動を促すため、ハザードマップを普及啓発



図1 3段階の目標と対策

ポイント② 新たに「事前防災」の観点で、下水道の施設整備を進めていきます。

- ◆ これまでは浸水が発生した地区を優先して整備してきており、対策が進んできています。
- ◆ 一方、気候変動で雨の降り方が変わってきており、過去に浸水被害が起こってない地区についても浸水シミュレーションを活用し、浸水が想定される地区について下水道施設の整備を進めます。
- ◆ 今後 20 年間で、浸水が想定される地区の中から、浸水した際の影響が大きい地区（約 250 地区）の下水道施設の整備を進めます。
- ◆ 整備を実施する地区は、緊急性や効率性を考慮し、4 年ごとに策定する「横浜市下水道事業中期経営計画」で選定します。

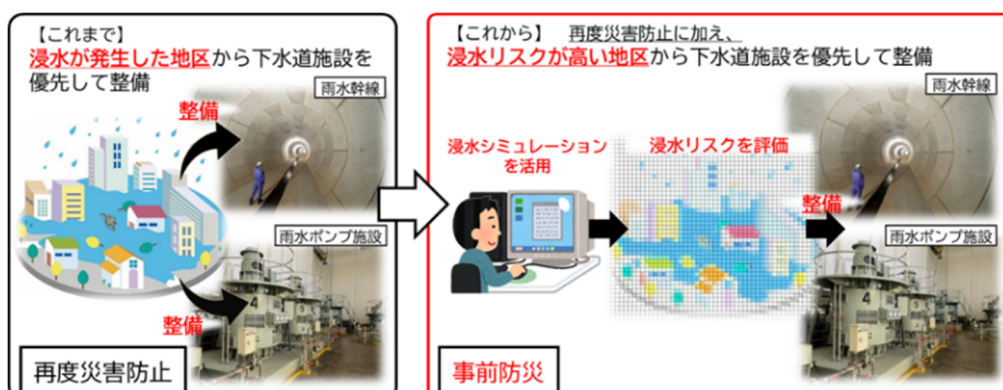
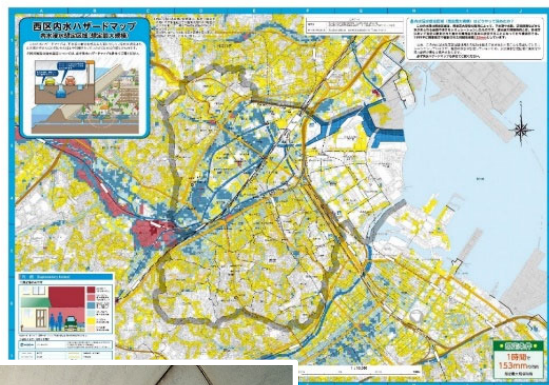
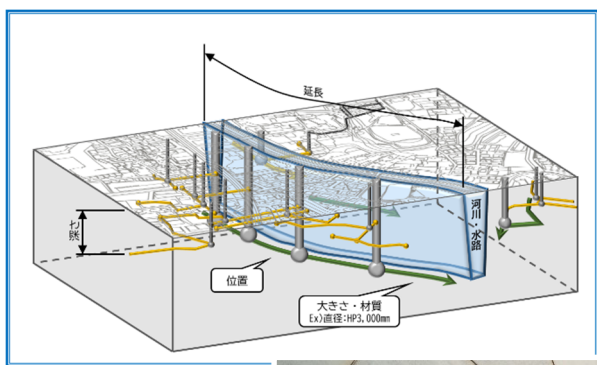


図2 事前防災の推進

(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン (素案) に関する市民意見募集



市民の皆様の意見を募集します。

意見募集期間：令和6年12月24日（火）から令和7年2月14日（金）まで

1 計画の位置づけ

浸水には、河川から溢れて発生する「外水氾濫」とまちに降った雨が河川等に排水できずに発生する「内水氾濫」があります（図1）。下水道は、まちに降った雨水（内水）を排除する役割を担っており、河川等に放流するための雨水管やポンプ場、貯留施設等の施設整備を行っています（図2）。

今回策定する（仮称）横浜市下水道浸水対策プランは、これまでの浸水対策の進捗状況や気候変動の影響を踏まえた雨に強い強靱なまちづくりを一層推進することを目的として、これからの下水道による浸水対策の目標や進め方などを定めた浸水対策のマスタープランです。

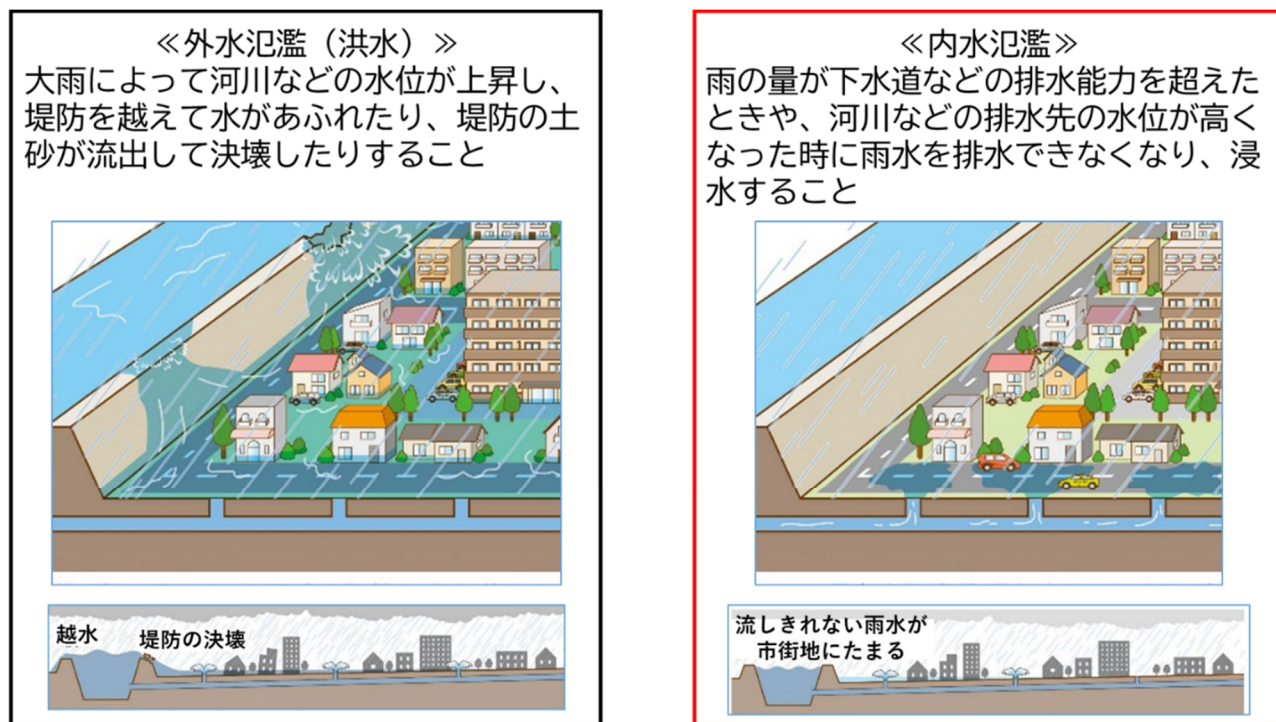


図1 浸水の種類

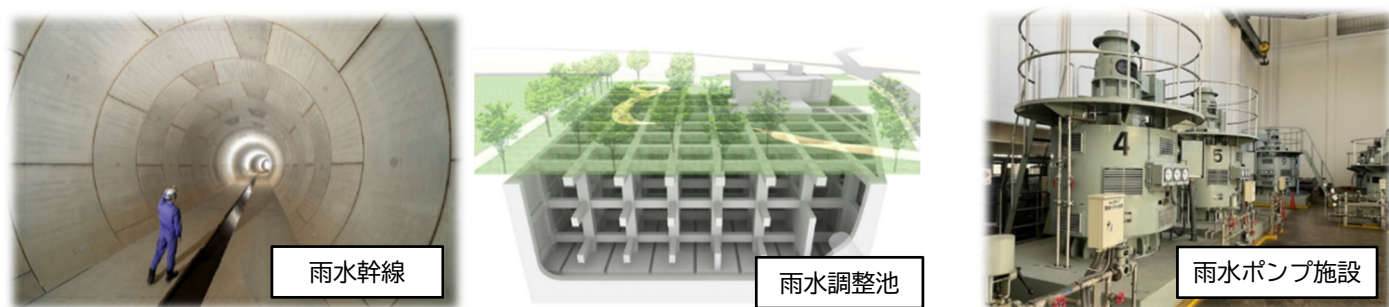


図2 目標整備水準に対する下水道施設の整備

2 浸水対策の現状と課題

これまで再度災害防止の観点で浸水が発生した地区を優先して下水道施設の整備を進めてきており、令和7年度末までに、浸水が発生した地区のうち、約9割で整備が完了する予定です（図3）。

一方で、気候変動の影響により日本全国における1時間あたり50mm以上の強い雨の発生回数は、約50年で1.5倍に増加（図4）しており、国が示す予測では、2040年ごろには本市の降雨量が現在の1.1倍に増加するとされています。

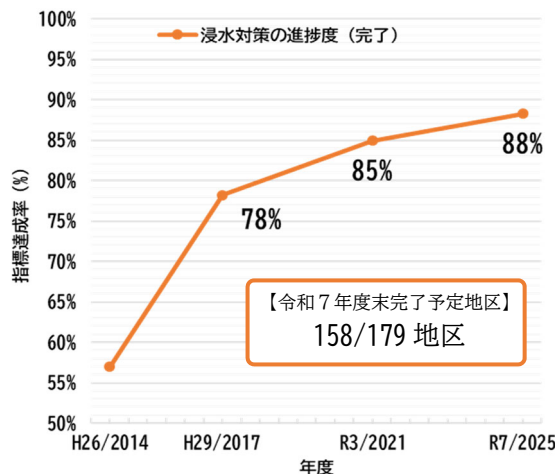


図3 浸水対策の進捗度

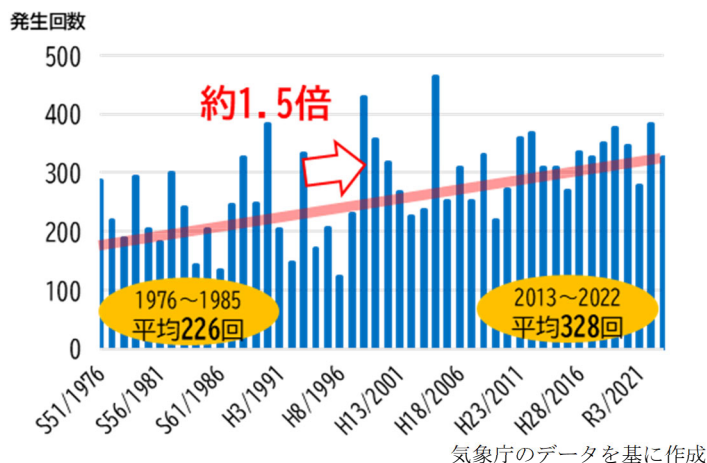


図4 全国の1時間あたり50mm以上の降雨の発生回数推移

3 これからの浸水対策の考え方

気候変動の影響により雨の降り方に変化が生じていることを踏まえ、防災・減災の観点から、新たな防災目標と新たに2つの減災目標を設定し、ハード・ソフトの両面から効率的・効果的に浸水対策を推進していきます（図5）。

防災対策	減災対策	
浸水を防ぐ目標	甚大な被害を防ぐ目標	命を守る目標
下水道からあふれさせない	下水道からあふれても 床上浸水をさせない	大きな浸水時も 安全な避難の確保
【対象降雨】 目標整備水準※を1.1倍に引上げ 5年確率：47.2mm/hr ⇒ 51.9mm/hr 10年確率：57.9mm/hr ⇒ 63.7mm/hr 30年確率：74.2mm/hr ⇒ 81.6mm/hr	【対象降雨】 1時間あたり100mm ・横浜市の既往最大降雨 ・2019年9月観測（栄区上郷）	【対象降雨】 1時間あたり153mm ・国が定める想定最大規模降雨 ・1999年、千葉県で観測
雨水幹線・雨水調整池・ ポンプ施設などの 下水道施設の整備	既存ストックの有効活用、 雨水流出抑制、ソフト対策	内水ハザードマップの 普及啓発による 自助・共助の促進

※目標整備水準：下水道施設を整備する基準となる降雨

図5 新たな目標の設定

4 防災対策

(1) 目標整備水準の見直し

気候変動の影響により降雨量が増加する予測が示されていることから、国土交通省から示されている降雨量の変化倍率（1.1 倍）をもとに、これまでの目標整備水準を引き上げ、雨水幹線やポンプ場、貯留施設等の下水道施設の整備を強化していきます（図 6）。

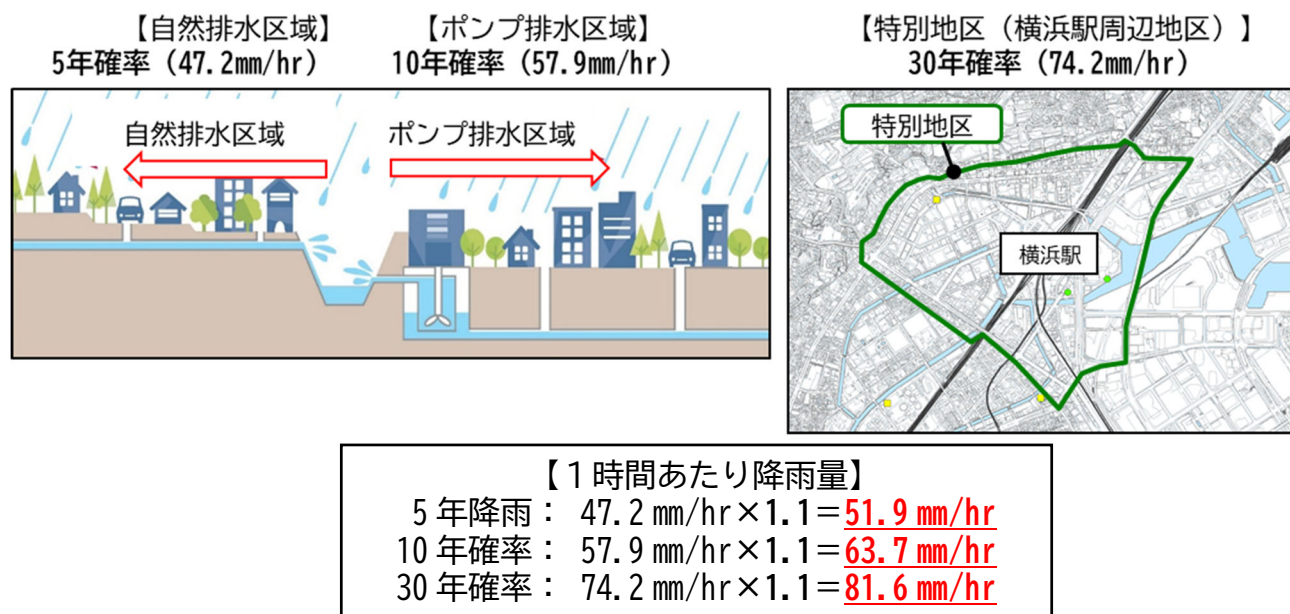


図 6 気候変動を踏まえた目標整備水準

(2) 事前防災の観点による浸水対策の推進

これまでの「再度災害防止」の観点に加え、今後は「事前防災」の観点から本市特有の精緻な浸水シミュレーションを活用して浸水リスクを評価し、浸水リスクの高い地区から優先順位を定め、下水道施設整備を推進していきます（図 7）。

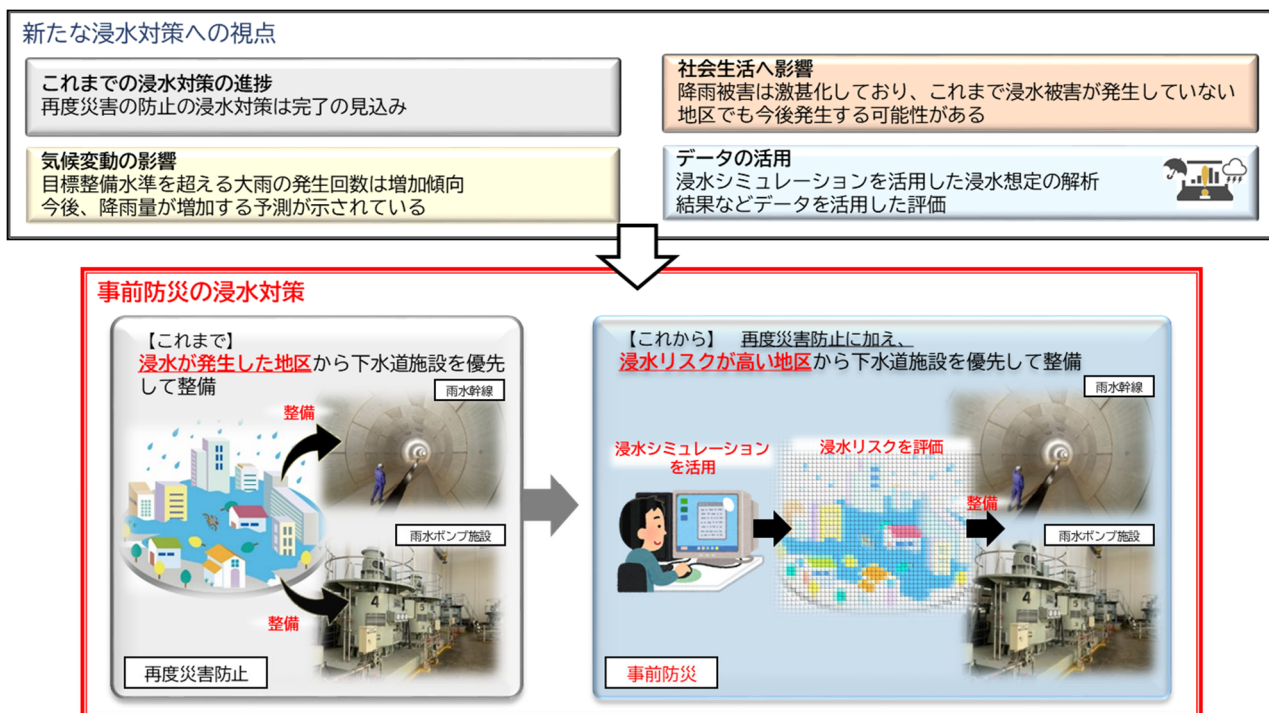


図 7 事前防災の観点による浸水対策の考え方

(3) 浸水リスクの評価

浸水リスクは、雨水の流れをもとに市域を 6,122 地区に分割し、「浸水想定」と「浸水の影響度」によって評価を行います（図 8）。「浸水想定」は、浸水シミュレーションを活用して算出した浸水想定の高さや深さ、「浸水の影響度」とは、人口や資産などの分布状況に加え、浸水した際に特に影響が大きい地下街・地下施設、鉄道駅、災害時要援護者施設、防災関連施設の分布状況を使用し、マトリクスによって浸水リスクを評価します（図 9）。

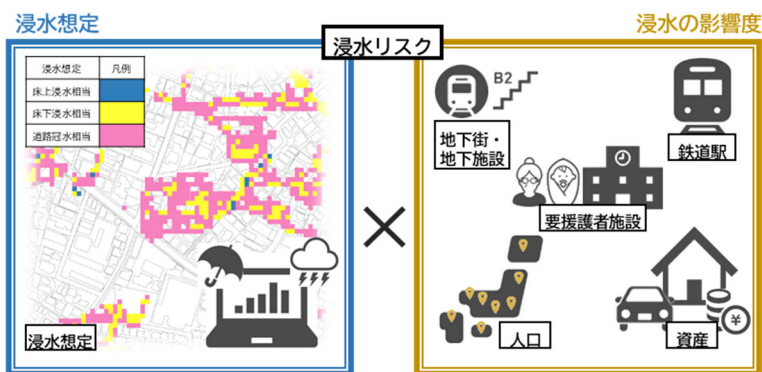


図 8 浸水リスクの評価

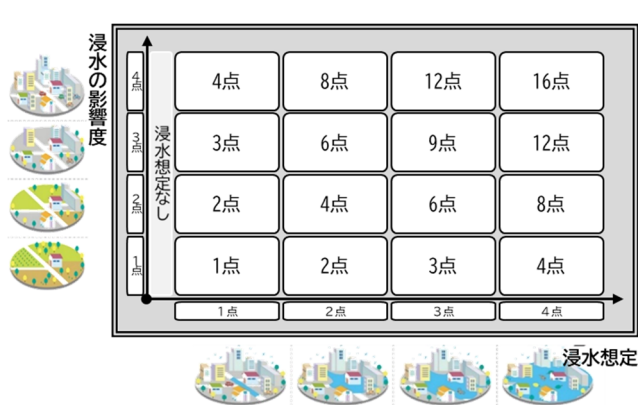


図 9 マトリクスによる浸水リスクの評価

(4) 本プランにおける整備実施地区

浸水リスク評価に基づき、浸水リスクの高い地区から下水道施設を整備していきます。本プランは概ね 20 年後を目標に、最も優先度が高い 252 地区の面整備（枝線整備）やその地区を受け持つ 16 幹線を優先して整備（図 10）し、概算事業費は約 1,600 億円の見込みです。なお、浸水対策の整備実施地区は、浸水リスク評価に基づく優先度に加え、緊急性や効率性も考慮して、本市の財政ビジョンや中期計画とも整合を図り、横浜市下水道事業中期経営計画策定ごとに選定していきます（図 11）。

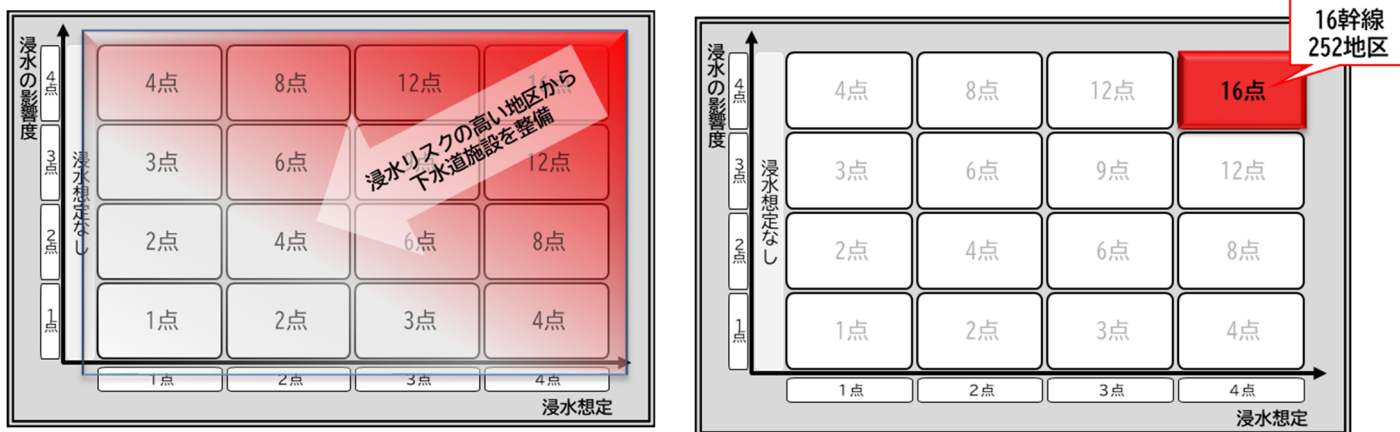
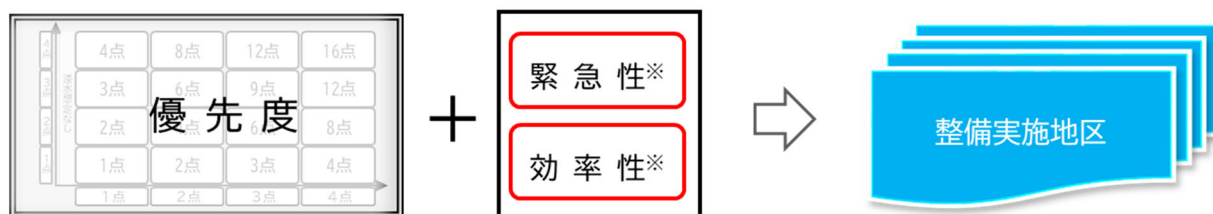


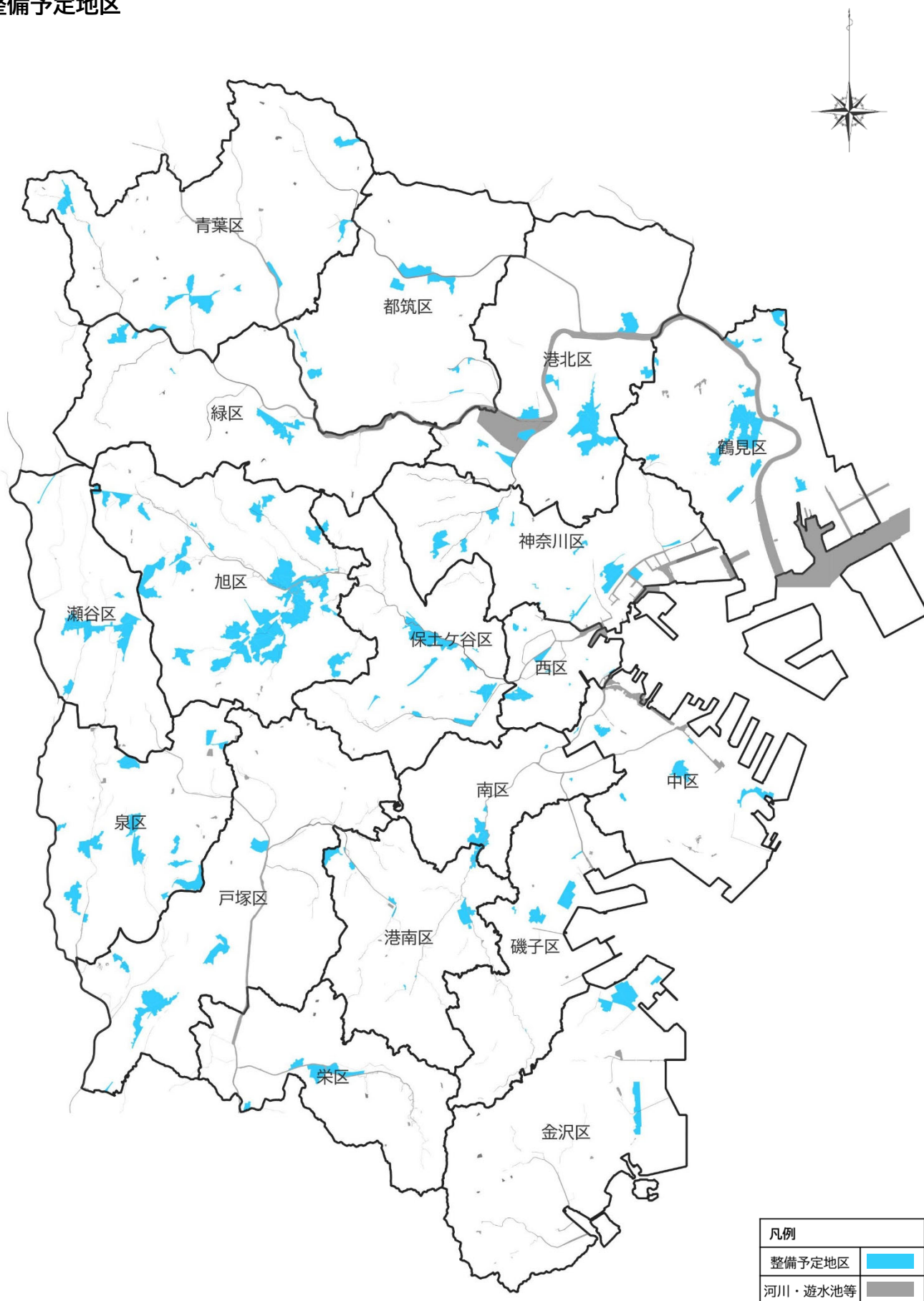
図 10 施設整備の優先度の考え方と本プランにおける整備対象地区



※緊急性：浸水の実績、浸水被害の状況、水路の老朽化 など
 ※効率性：他事業の計画、まちづくり など

図 11 整備実施地区選定の考え方

整備予定地区



5 減災対策

目標整備水準を超える降雨に対して浸水被害の軽減を図るため、市民の皆様の生命・財産を守る観点から、新たに「甚大な被害を防ぐ目標」と「命を守る目標」を設定し、減災対策を進めていきます。

(1) 甚大な被害を防ぐ目標と対策（100 mm/hr・床上浸水の概ね防止）

甚大な被害を防ぐ目標は、1時間あたり100mmの降雨で床上浸水を概ね防止することとします。

この目標の達成に向けては、目標整備水準に対する施設整備が大きな効果を発揮することから、施設整備を着実に進めるとともに、施設整備を行っても床上浸水が想定される地区に対しては、既存ストックの有効活用、雨水流出抑制対策、ソフト対策を推進していきます（図12）。

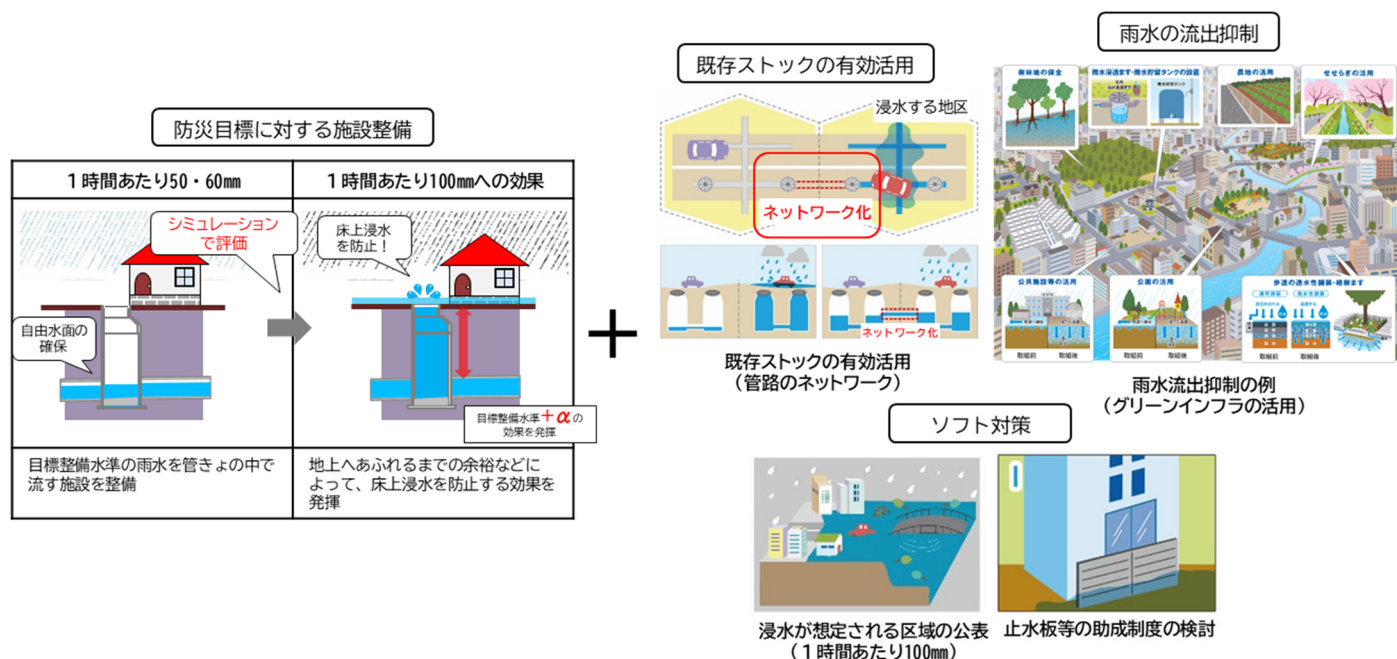


図12 甚大な被害を防ぐ目標に対する主な対策

(2) 命を守る目標と対策（153 mm/hr・安全な避難の確保）

命を守る目標は、国から示されている横浜における想定し得る最大規模※の降雨である1時間あたり153mmの降雨で安全な避難を確保することとします。

この目標の達成に向けては、引き続き、全戸配布されている内水ハザードマップの普及啓発など、自助・共助の促進に向けたソフト対策を推進していきます（図13）。

※「浸水想定（洪水、内水）の作成等のための想定最大外力の設定手法」（平成27年7月 国土交通省 水管理・国土保全局）にから設定

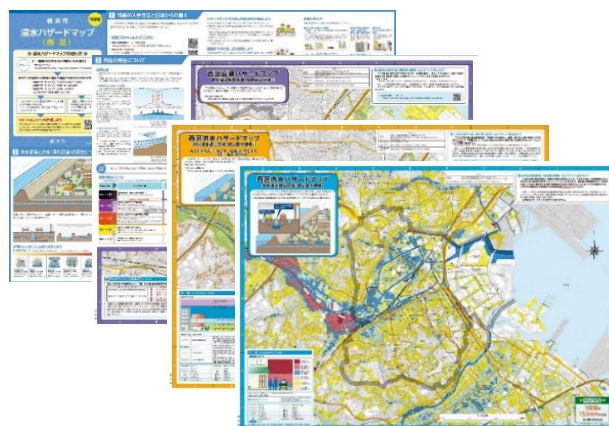


図13 浸水ハザードマップ

◆ ご意見の提出方法

1 横浜市電子申請・届出システムによるご意見提出【推奨】

横浜市電子申請・届出システムのオンライン入力フォームへアクセスし、ご入力ください。

【URL】

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/1e59b8ff-943f-4b71-82f0-58925e5e5a3d/start>



2 電子メール、FAX、郵送によるご意見提出

電子メール、FAX、郵送でご提出いただく場合はご意見いただく項目、掲載ページ、居住区、年代、横浜市下水道浸水対策プラン（素案）に関するご意見である旨を明記した上でお送りください。

【送付先】

電子メール：gk-shinsuiiken@city.yokohama.lg.jp

FAX：045-664-0571

郵送：〒231-0005 横浜市下水道河川局マネジメント推進課 宛

※郵送の場合は、令和7年2月14日（金）の消印まで有効とさせていただきます。

送料はご負担ください。

◆ 注意事項

ご意見を正確に把握する必要があるため、電話や口頭でのご意見はお受けできません。

提出の際には、居住区、年代をご記入ください。

お寄せいただいたご意見・個人情報については今回の横浜市下水道浸水対策プランの策定にのみ使用し、その他の用途には使用しません。

ご意見の概要とそれに対する市の考え方等は個人情報を除き、本市ホームページで公表する予定です。

ご意見の個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

横浜市下水道浸水対策プランは以下の場所でご確認いただけます。

● 市ウェブサイト

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasengesuido/gesuido/bousai/keikaku.html>

● 各区役所 広報相談係

● 市民情報センター（横浜市庁舎3階）

● 下水道河川局マネジメント推進課（横浜市庁舎24階）



区連会 1 月定例会資料
令和 7 年 1 月 20 日
福 祉 保 健 課

各自治会町内会長 様

栄区福祉保健課長

「さかえ・つながるフォーラム」開催に伴う周知協力について（依頼）

1 事業の趣旨

栄区地域保健福計画の一層の推進を図ること、及び、今年 12 月に一斉改選を控えた民生委員事業の理解促進を図るため、地域の取組や地域福祉保健計画、民生委員活動の紹介等を行う区民向けのフォーラムを開催します。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】ご承知おきください。

【単位会長】各自治会町内会掲示版にて「開催チラシ」の掲示をお願いします。

3 開催概要（詳細は開催チラシを参照ください）

（1）主催

栄区福祉保健課・栄区社会福祉協議会

（2）開催日時

令和 7 年 2 月 15 日（土）12 時～16 時

（3）会場

栄公会堂

（4）内容

ア 講堂イベント

≪第 1 部≫有識者による基調講演、地区の取組、民生委員活動紹介

≪第 2 部≫和太鼓演奏、来場者抽選会

イ その他の催し

- ・展示コーナー（地区の活動、民生委員活動）
- ・タッチーくんオリジナル巾着袋づくり
- ・カプセルトイ
- ・障害福祉事業所による物販コーナー
- ・乳がん触診モデル体験コーナー

4 ご参加いただける方

どなたでもご参加いただけます。

（事前申込不要・参加費無料）

【担当】栄区福祉保健課 川村・加藤・小川・小池

電話：894-6962

FAX：895-1759

E-mail：sa-fukuho@city.yokohama.lg.jp

楽しいイベント

栄区地域福祉保健計画

抽選会

さかえ つながるフォーラム

地域の取組や民生委員の活動を紹介!

令和7年

日時

2月15日(土)12時～

会場

栄公会堂

(たちーらんど)

横浜市栄区桂町279-29



ステージイベント (講堂) ～16時



昨年の様子

第1部 13時30分～

- 基調講演：講師 豊田 宗裕 教授
(聖徳大学)

● 地区の取組発表

(笠間地区・本郷中央地区・本郷第三地区)

- 民生委員・児童委員の活動紹介

抽選

タッチーくん
グッズ等が
当たる抽選会も!

※抽選券配布は14時まで

来場者に
タッチーくんクッキー
プレゼント!
(先着200人)



春日一番太鼓

第2部 15時15分頃～

● 和太鼓演奏

出演：春日一番太鼓

● 来場者抽選会

その他の催し ～15時15分頃

1階ホワイエ

障害福祉事業所による 物販コーナー

2階会議室

- タッチーくんオリジナル巾着袋づくり (先着80人)

- カプセルトイ

- 地区の取組紹介等の 展示コーナー

- 乳がん触診モデル体験コーナー



申込不要!
入場無料!
みんなで
遊びに来てね!



詳細はこちら

さかえつながるフォーラム

検索

【主催・問い合わせ】

栄区福祉保健課

TEL 045-894-6962 FAX 045-895-1759

栄区社会福祉協議会

TEL 045-894-8521 FAX 045-892-8974

※イベント内容は、予告なく当日変更となる場合がありますのでご了承ください。

※手話通訳をご希望される場合は2月6日(木)までに栄区福祉保健課までご連絡ください。

区役所へのデジタル機器の設置について【情報提供】

1 趣旨・概要

横浜市中期計画や横浜 DX 戦略に掲げた「書かない、待たない、行かない区役所」を実現するため、また、マイナンバーカードを活用したデジタルの利便性を市民の皆様により実感していただくため、住民票の写し等の証明書の取得の際に活用できるデジタル機器を区役所に設置します。

2 依頼事項

【区 連 長】御承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。

定例会等で情報提供をお願いします。

3 区役所に設置するデジタル機器

(1) 証明書発行端末機の設置

全区役所に証明書発行端末（コンビニエンスストア等にあるマルチコピー機）を設置します。この端末では、マイナンバーカードを使用し、住民票の写しや印鑑登録証明書等の証明書が、窓口よりも 50 円安く（戸籍証明は除く）、かつ、短時間で取得できます。

市民の皆様に、証明書発行端末機による証明書取得（コンビニ交付サービス）の利便性を体験いただくことで、皆様の大切な時間をお返しします。なお、コンビニ交付サービスは、全国のコンビニエンスストア等でも御利用いただけます。

○設置期間：令和 6 年 11 月以降順次～令和 8 年度末（予定） <証明書発行端末>

○コンビニ交付対象証明書：

住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書
戸籍証明書、戸籍の附票の写し

○手数料

250 円（ただし、戸籍証明書は 450 円）

【コンビニ交付サービス HP の二次元コード】

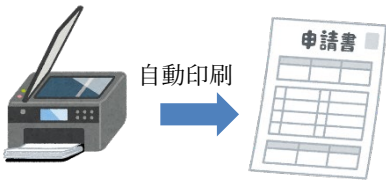


(2) 申請書自動作成システム（自動読取機）の設置

マイナンバーカード等から住所・氏名等の情報を読み取り、申請書に自動転記する「申請書自動作成システム」（自動読取機）を全区戸籍課に設置しました。今年度末から申請のピークを迎えるマイナンバーカードの電子証明書の更新手続に活用し、申請書の作成時間を大幅に削減※することで、市民の皆様の御負担を軽減します。

※R 5年度に一部の区戸籍課で試行設置し、効果検証を行った結果、手書きによる申請書記入に比べ、作成時間が 50%削減

< 申請書自動作成システム利用手順 >

STEP 1	STEP 2	STEP 3
 タブレットパソコン	 マイナンバーカード等 申請書自動作成システム	 プリンター 申請書
申請書を選択	マイナンバーカードの読み取り (運転免許証、在留カード等も利用可)	氏名、住所等が印字された 申請書を自動印刷

※機器は各区役所の状況等に応じ、待合フロアに設置（来庁者の方が操作）、または、窓口内部に設置（職員が操作）

担当 市民局窓口サービス課
會田、西尾

TEL : 045-671-2177

Email : sh-miryoku@city.yokohama.lg.jp

「マイナンバーカード出張申請サポート」の実施結果について

【報告】

1 主旨

9月の区連会にて開催をお伝えしました標記サポート事業について、皆様のご協力により、全5回の開催を無事に終えることが出来ましたので、実施結果をご報告いたします。

実施日	自治会・町内会名	申請者数
9月28日	長倉町自治会	8
10月12日	笠間町内会	2
10月26日	第3大船パークタウン自治会	7
11月9日	尾月自治会	2
11月23日	大船富士見台自治会	5

※ 実施日は全て土曜日（土曜開庁日の第二・第四土曜日）
土曜開庁終了後の14:00～17:00に実施しました。

2 今後の実施について

今回の実施結果や区民の皆様の保有率の状況をみると、マイナンバーカードの普及については一定の成果が見られています。

今後は、「マイナンバーカード特設センター（市内4か所に設置）」が令和6年度から「訪問申請支援」を開始したことを受け、区独自の出張申請サポートは終了し、個人や自治会町内会よりお問合せがあった際には、特設センターをご案内いたします。

市連会 1 月定例会説明資料
令和 7 年 1 月 1 0 日
政策経営局大都市制度推進本部室

特別市の実現に向けた機運醸成の取組について【情報提供】

1 趣旨

横浜市にふさわしい大都市制度「特別市」の早期法制化の実現に向けて機運を醸成していくための取組にご協力いただきありがとうございます。現在の取組状況と今後の取組について、ご説明させていただきます。

2 お願いしたいこと

【区連長】 ご承知おきください。

【地区連長】 地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】 単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

シンポジウムにお誘いあわせの上ご参加ください。「特別市」に興味のある方、よく知りたいという方のご参加をお待ちしています。

3 特別市に関する地域説明会

区連会の皆様にご協力いただき、各区で順次開催している特別市に関する地域説明会は、これまでに 11 区で開催しました。3 月までに全 18 区で開催する予定です。

<開催状況>

	開催日	開催区
1	8 月 28 日	泉 区
2	11 月 5 日	緑 区
3	11 月 7 日	保土ヶ谷区
4	11 月 27 日	中 区
5	12 月 4 日	神奈川区
6	12 月 9 日	港北区

令和 6 年 12 月末時点

	開催日	開催区
7	12 月 12 日	戸塚区
8	12 月 13 日	西 区
9	12 月 16 日	南 区
10	12 月 17 日	鶴見区
11	12 月 25 日	磯子区

- <内 容> ○「横浜市が目指す特別市とは」（説明者：山中 竹春 横浜市長）
○ 意見交換・その他

4 国に対する働きかけの状況

(1) 横浜市の取組

国の令和7年度予算編成が終盤を迎えつつある時機をとらえ、国の予算の確保等を図るため、「国の制度及び予算に関する提案・要望書」を取りまとめました。

11月21日に、古川直季 総務大臣政務官に対し、特別市の早期法制化の実現に関する要望を行いました。



(左から) 山中横浜市長、古川総務大臣政務官

(2) 指定都市市長会の取組

11月18日に、指定都市市長会「多様な大都市制度実現プロジェクト」を開催し、同日の指定都市市長会議において、「人口減少時代を見据えた多様な大都市制度の早期実現に関する提言（素案）」を採択しました。

11月19日に、久元 喜造 神戸市長（会長）・福田 紀彦 川崎市長（プロジェクト担当市長）から村上 誠一郎 総務大臣に「次期地方制度調査会における調査審議に関する指定都市市長会要請」を行うとともに、提言（素案）についても説明しました。

(3) 国における動き

特別市などの大都市に関する制度等に関し、具体的な課題の整理及び対応の方策について議論を行うため、学識者などで構成される「大都市における行政課題への対応に関するワーキンググループ」が総務省に設置され、昨年12月16日に第1回の会合が開催されました。

5 「特別市」シンポジウムの開催結果

特別市の必要性や、特別市の実現による効果などについて分かりやすくお知らせするため、広く市民の皆様を対象としたシンポジウムを開催しました。

<開催概要>

日 時：令和6年11月23日（土）14時～16時

会 場：港南区民文化センター ひまわりの郷

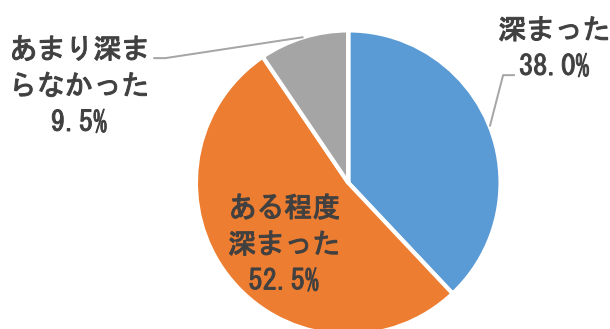
参加人数：240人

内 容：	第1部 基調講演	辻 琢也 さん（一橋大学教授）
	第2部 座談会	山中 竹春（横浜市長） 原 日出子 さん（俳優） 辻 琢也 さん（一橋大学教授）

<アンケート結果>

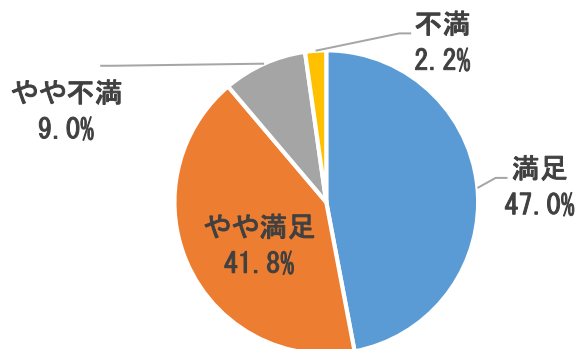
【質問】シンポジウムに参加して、特別市制度について理解が深まりましたか。

深まった・ある程度深まった 90.5%



【質問】シンポジウムについての満足度をお聞かせください。

満足・やや満足 88.8%



<シンポジウムの様子>



基調講演



座談会

6 指定都市市長会シンポジウム

指定都市市長会との共催により、新たな大都市制度について分かりやすくお伝えするため、広く市民の皆様を対象にシンポジウムを開催します。

(1) 開催概要

日時：令和7年3月8日（土）14時開始（13時30分開場）

会場：戸塚区民文化センター さくらプラザ ホール

定員：300人（参加費無料）※申込者多数の場合は抽選

(2) その他

今月の各区の区連会において、ご案内させていただくとともに、配送ルートにより、各单位町内会長宛てにチラシ兼FAX申込書を送付させていただきます。

【シンポジウム担当】

政策経営局制度企画課 山口・鈴木

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

TEL:045-671-2952 FAX:045-663-6561

Eメール: ss-seidokikaku@city.yokohama.lg.jp

横浜市

未来の選択

横浜の未来を考える
指定都市市長会
シンポジウム
～新たな大都市制度について～

登壇者



古川 直季氏
総務大臣政務官



山中 竹春
横浜市長



辻 琢也氏
一橋大学大学院
法学研究科教授

2025 3/8 土
(令和7年)

開始 14:00 開場 13:30

会場 戸塚区民文化センター さくらプラザ ホール
戸塚区総合庁舎内4階
(JR・横浜市営地下鉄 戸塚駅西口 徒歩約2分)

定員 300名 参加費無料 (事前申込制)

参加申込みは
こちら



お問合せ: 横浜市政政策経営局制度企画課 TEL 045-671-2952

— 主催 —



指定都市市長会



— 共催 —



横浜市

横浜の未来を考える指定都市市長会シンポジウム

～新たな大都市制度について～

登壇者プロフィール



山中 竹春

横浜市長

1972年生。早稲田大学政治経済学部卒、同大学理工学部数学科卒。博士(理学)。アメリカ国立衛生研究所(National Institutes of Health)研究員、国立がん研究センター部長、横浜市立大学特命副学長・同大学医学部教授などを歴任。世界気候エネルギー首長誓約(GCoM)理事(東アジア地域代表)、経済協力開発機構(OECD)チャンピオン・メイヤー。



古川 直季氏

総務大臣政務官

希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、同大学公共政策大学院修了。
横浜銀行、議員秘書を経て1995年横浜市会議員初当選(7期連続26年)、
2021年衆議院議員初当選(第49回総選挙)、
2024年衆議院議員当選(第50回総選挙)、
2024年11月総務大臣政務官に就任(第2次石破内閣)。



辻 琢也氏

一橋大学大学院法学研究科教授

東京大学大学院博士(学術)
専門分野: 行政学・地方自治論
主な役職: 内閣府「税制調査会」委員、
総務省「国地方係争処理委員会」委員長代理、
横浜市大都市自治研究会座長、
第30次・第31次地方制度調査会委員、
指定都市市長会「多様な大都市制度実現プロジェクト」アドバイザー。

お申込み方法

申込締切: 3月5日(水)

※手話・筆記通訳をご希望の方は2月26日(水)までにお申込みください。
※申込者多数により参加不可の場合は3月6日(木)までに連絡します。

WEB
から

申込みフォーム →

FAX
から

045-663-6561

●下の「FAX申込用記入欄」にご記入の上
ご送信ください。

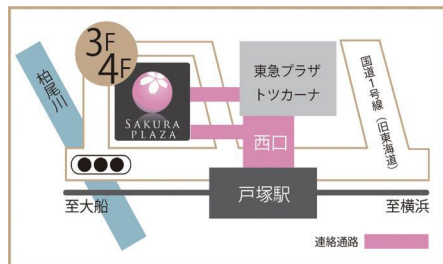


アクセス

戸塚区民文化センター さくらプラザ ホール
戸塚区総合庁舎内4階 (横浜市戸塚区戸塚町16番地17)

JR・横浜市営地下鉄
「戸塚駅」西口から
徒歩約2分

※シンポジウムに関しまして、
会場へのお問い合わせは
ご遠慮ください。
※ご来館の際には、できるだけ
電車・バスなど公共交通
機関をご利用ください。



FAX申込用記入欄

フリガナ

氏 名

年 代

居住地

アンケート

ご希望の方のみ

電 話 番 号

メールアドレス

☐ 19歳以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代以上

☐ 横浜市内()区 ☐ 神奈川県内 ☐ 神奈川県外

①「特別市」について、知っていますか?

☐ 名称も内容もよく知っている ☐ 名称は知っているが、内容は知らない ☐ 名称も内容も知らない

②「特別市」について、質問があれば自由にご記載ください。

☐ 車いす席 ☐ 手話通訳 ☐ 筆記通訳 ※手話・筆記通訳をご希望の方は2月26日(水)まで

※参加証はございません。※申込にあたっていただいた情報は、シンポジウム申込者としての把握のためであり、目的外には使用いたしません。

指定都市市長会とは

横浜市をはじめ全国20の指定都市で構成。大都市行財政の円滑な推進と伸張を図ることを目的として、大都市共通の課題に関する調査・研究や、地方分権改革の推進、新たな大都市制度の創設、国の予算編成等に関する政策提言・意見表明を行っている。

市連会 1 月定例会説明資料
令和 7 年 1 月 10 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN×EXPO 推進課

GREEN×EXPO 2027 の開催に向けた取組状況について【情報提供】

1 事業の趣旨

GREEN×EXPO 2027 開催に向けた各事業の進捗状況について、情報提供させていただきます。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】 ご承知おきください。

【地区連長】 ご承知おきください。

3 報告概要（詳細は別添資料をご確認ください。）

(1) GREEN×EXPO 2027 に向けた機運醸成の取組について

- ・イベントや国際会議におけるプロモーション
- ・公共空間を活用した公共プロモーション
- ・「GREEN×EXPO 2027」地域説明会の開催

(2) GREEN×EXPO を契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成の取組について

- ・ヨコハマ未来創造会議
- ・新規プロジェクト『STYLE100』

(3) 会場計画について

- ・EXPO で目指すゴール
- ・出展者等公募企業の状況
- ・イメージ図

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN×EXPO 推進課
担当 永山、角村
TEL671-4627
da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

CITY OF YOKOHAMA

別紙

GREEN × EXPO 2027の開催に向けた 取組状況について

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER

目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画

目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画

1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成 イベントや国際会議におけるプロモーション

秋のイベントシーズンに合わせて区民まつりや大規模イベント等での集中的なプロモーションを展開
国際会議においてPRブースの設置やセッションの実施等、国内外からの参加者に向けて情報発信

区民まつりでのPR、大規模イベント出展等

- ・秋の里山ガーデンフェスタ（9月～10月）
- ・新横浜パフォーマンス（10月）
- ・ワールドフェスタ・ヨコハマ（10月）・横浜マラソン（10月）
- ・Live!横浜（11月）



区民まつりでのPR



新横浜パフォーマンス：フォトコーナー



横浜マラソン：横断幕設置



Live!横浜：出展ブースのにぎわい

国際会議やEXPO関連事業でのプロモーション

- ・アジア・スマートシティ会議(ASCC)（10月）
- ・SDGs未来都市・環境絵日記展（11月）
- ・国際熱帯木材機関（ITTO）理事会（12月）



ASCC：GREEN×EXPO 2027セッションの様子



ASCC：セッション会場の様子



ASCC：ユースセッションの様子



SDGs未来都市・環境絵日記展：
横浜市長奨励賞（GREEN×EXPO部門）の表彰

1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成 公共空間を活用した広報プロモーション

乗降客数が多い駅や公共空間において、令和6年10月から統一的なデザインによる階段広告等を実施

■階段広告

区	掲出場所
鶴見区	J R鶴見駅
神奈川区	J R東神奈川駅
西区	MM線みなとみらい駅、JR横浜駅
中区	MM線元町・中華街駅、JR石川町駅、新港サークルウォーク
南区	京急弘明寺駅
港南区	JR港南台駅
保土ヶ谷区	相鉄星川駅
旭区	相鉄二俣川駅
磯子区	J R磯子駅（フロア広告）
金沢区	京急金沢文庫駅
港北区	JR新横浜駅
緑区	JR十日市場駅、JR中山駅
青葉区	地下鉄あざみ野駅、田園都市線たまプラーザ駅
都筑区	地下鉄センター南駅
戸塚区	J R戸塚駅、JR東戸塚駅
栄区	JR大船駅
泉区	ゆめが丘ソラトス（相鉄ゆめが丘駅）
瀬谷区	相鉄瀬谷駅

■主要駅における広報プロモーション

乗降客数が多い横浜駅・新横浜駅を中心に柱巻き広告やトウنگトウングのマスコットバルーンを設置



JR線石川町駅



横浜駅柱巻き広告



横浜駅西口

※放映期間：R6. 11. 13～R7. 2. 14



新横浜駅（～R6. 10. 11）

1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成 「GREEN×EXPO 2027」地域説明会

【18区の地域説明会開催の経緯】

- 令和6年3月29日に横浜市町内会連合会（市連会）から、
『「GREEN×EXPO 2027」の成功に向けた機運醸成の取組の推進について』の意見書を受領

＜意見書の主な内容＞

地域において自然環境の保全などに取り組んでいただいている公園愛護会など様々な団体への説明も進めてほしい。

- 意見書をふまえ、日頃からGREEN×EXPOの開催意義・理念との親和性が高い、環境活動を担っている皆様に積極的にご参画いただきたいという趣旨から、5月から10月にかけて18区にて説明会を開催

【開催概要】

- ・ 対象：単位自治会・町内会、公園愛護会、水辺愛護会、
ハマロードサポーター、環境事業推進委員、
横浜の森づくり活動団体 等
- ・ 会場：各区公会堂、区民文化センター 等
- ・ 内容：①市長による講演（開催概要、地域活動とEXPOの繋がり等）
②各環境活動団体の代表との意見交換
- ・ 参加人数：3,882人（全区合計）（18区平均215人）



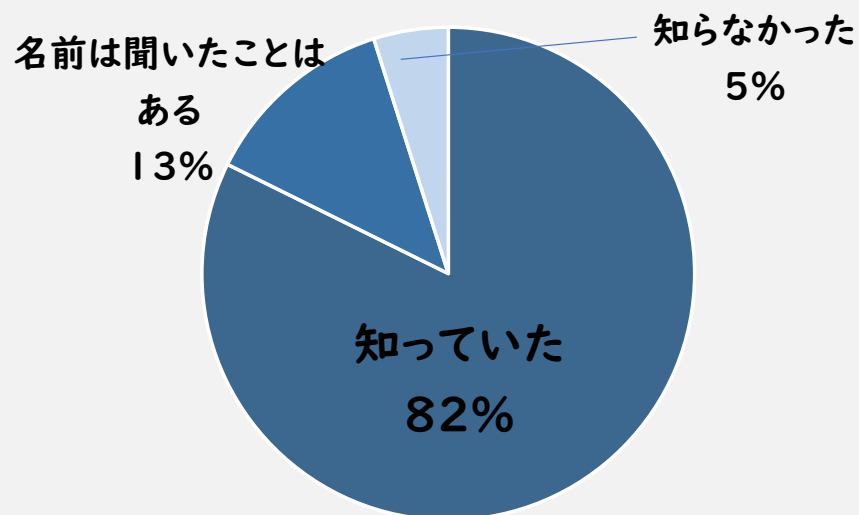
5月31日（金）泉区説明会 会場の様子

1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成

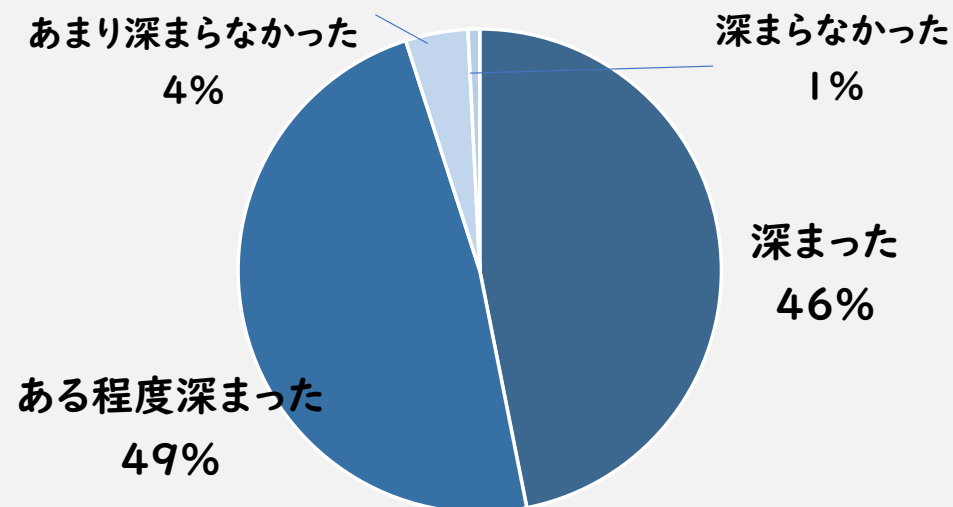
「GREEN×EXPO 2027」地域説明会

■参加者アンケート集計結果（18区全体）

Q. 説明会に参加する前にGREEN×EXPO 2027の開催について知っていましたか。



Q. 説明会に参加してGREEN×EXPO 2027の開催意義や理念、そのほかの内容について、理解が深まりましたか。



Q. 説明会に参加してGREEN×EXPO 2027へどのような形で参加したいと思いましたか。（複数回答可）

1位 一般来場客としての参加

2位 ボランティア参加（植物・運営 等）

3位 催事での参加（一般参加催事 等）

4位 その他

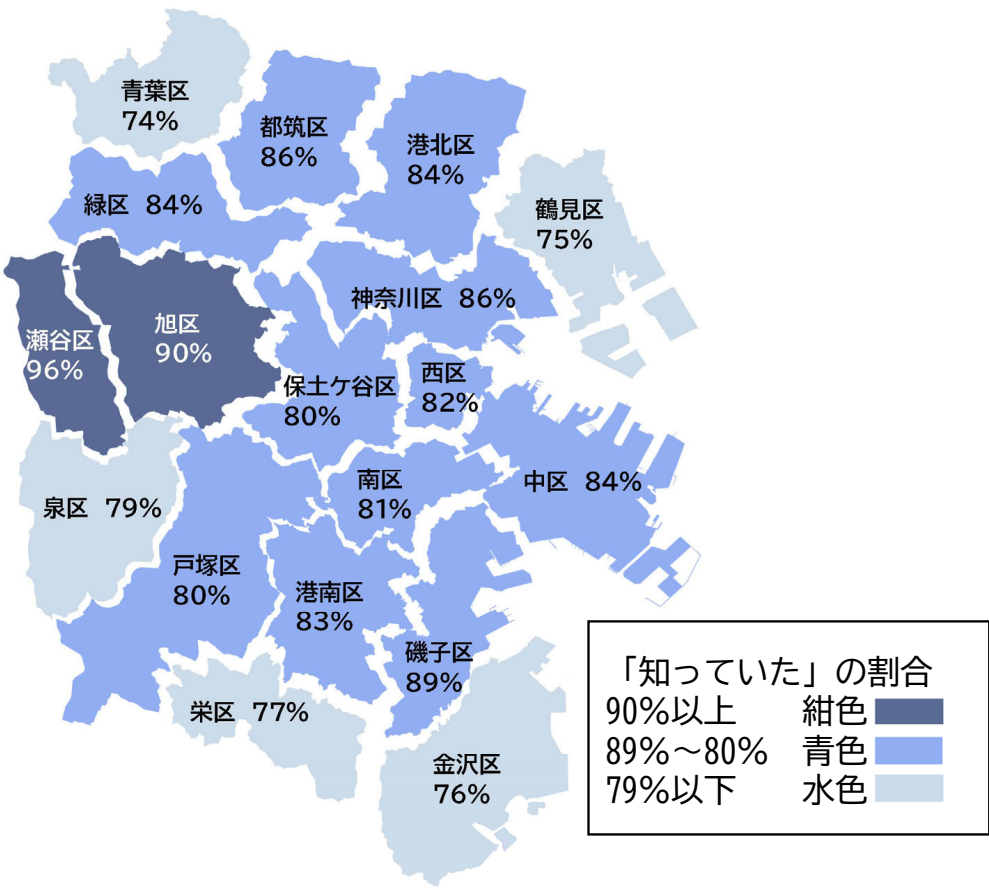
5位 花緑での参加（出展、市民参加花壇 等）

※自由意見欄でいただいたご意見・ご感想は、横浜市ホームページに掲載しています。

1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成 「GREEN×EXPO 2027」地域説明会

■参加者アンケート集計結果（区別）

Q. 説明会に参加する前にGREEN×EXPO 2027の開催について知っていましたか。



Q. 説明会に参加してGREEN×EXPO 2027の開催意義や理念、そのほかの内容について、理解が深まりましたか。



目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画

2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 ヨコハマ未来創造会議

グリーン社会に向けて取り組む「ヨコハマ未来創造会議」は、若者主体の環共アクションをGREEN×EXPO 2027 で発信することを見据え、今年度は5つのテーマ別分科会が中心となって実証実験に向けて活動を進めています。



■「中間発表イベント」開催

- ・令和6年10月8日（火）@Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIO
- ・大学生、企業の若手社員、メンター等 約50名参加

<主なプログラム>

- ・ヨコハマ未来創造会議メンターによるクロストーク
- ・テーマ別分科会ワーク、メンタリング
- ・実証実験に向けた計画発表



実証実験に向けた計画を
発表する分科会リーダー

メンタリングを
受ける分科会



■「FUTURE DEMODAY 2024」開催（予定）

- ・令和6年12月21日（土）

横浜の未来に繋がる
ファーストステップの活動と
今後の展開を発表する
ピッチイベント



（イメージ画像）

会場：みなとみらい周辺

- ・令和6年12月22日（日）

横浜の未来に触れられる
ファーストステップの活動を
紹介する展示イベント



（イメージ画像）

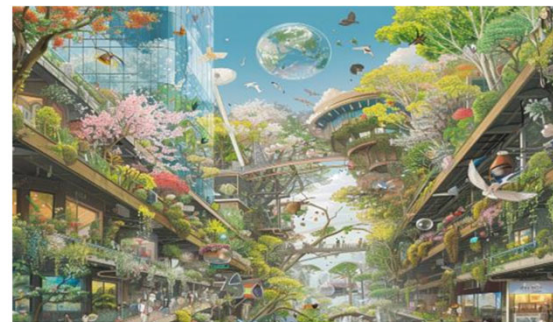
会場：横浜ワールドポーターズ
（未来創造会議の応援パートナー施設）

2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 ヨコハマ未来創造会議（5つのテーマ別分科会）



サステナブルツーリズムから考える
新たな観光要素「(仮)シン・ヨコハマ」の発掘！

- 横浜ならではのサステナブルな観光要素を創出し、観光を通じて持続可能な地球環境に向けた意識醸成を目指す



生物多様性と文化多様性を
もっと身近に考えられるアクションとは？

- 生物と文化の多様性と繋がりを楽しく学ぶ機会を増やし、地域で生物多様性を身近に考え保全につなげていくことを目指す



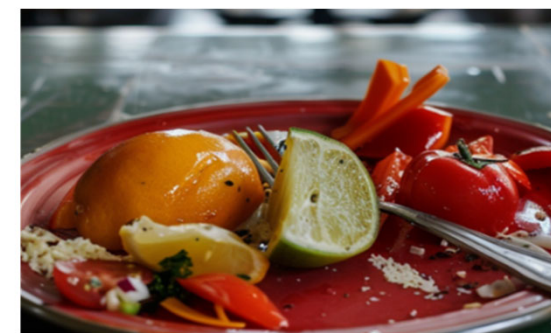
横浜の海で植物が育てられたら？

- 海上における農業の可能性を追求し、農業に係る環境負荷低減や限りある水資源の有効活用を目指す



都会で自然と共存しながら
メンタルウェルビーイングを高めるには？

- 自然環境と人々との接点を増やし、メンタルウェルビーイングとネイチャーポジティブへの意識醸成を目指す



フードサーキュラーを起点に子どもの可能性を
最大化するには？～学校給食のフードロス～

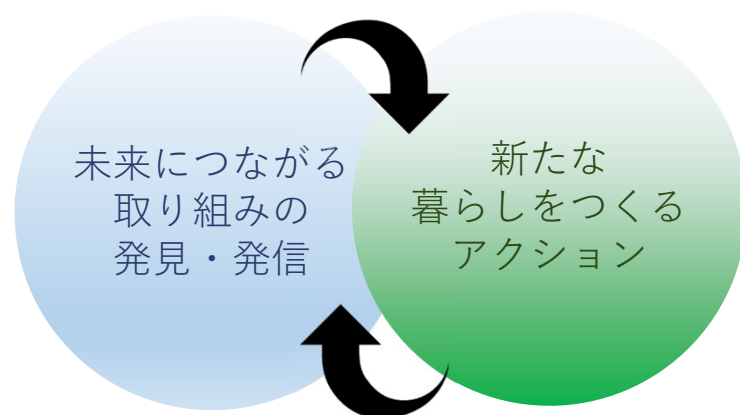
- フードロスを削減し、環境負荷低減と家庭の食支援を目指す

2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 新規プロジェクト『STYLE100』

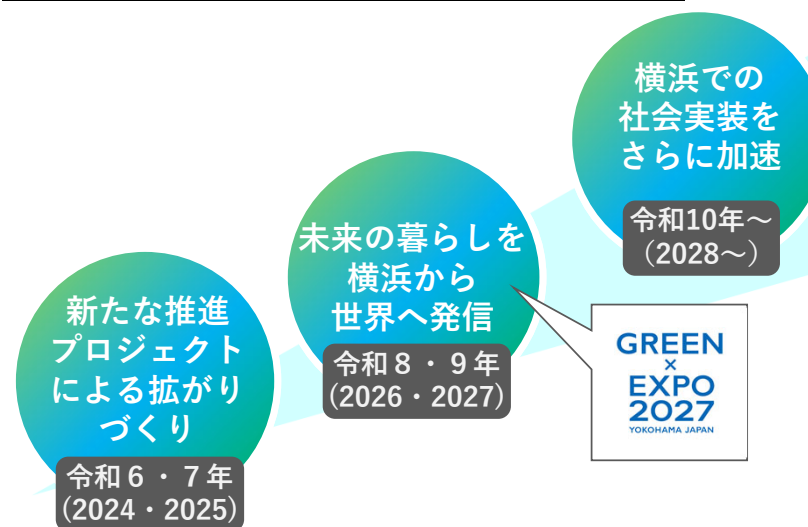
- 地球にやさしい未来の暮らしをつくる横浜の人や活動を紹介し、賛同者・参画者を増やしながら、新たなグリーン社会の実現を市民や企業と共に推進することを目的とした新プロジェクト「地球1個分で暮らそうSTYLE100」を立ち上げました。
- 横浜の市民・企業・団体が既に行っている、魅力的な取組・活動の実践事例を「STYLE」として取り上げ、広く発信していきます。
- あわせて、幅広いステークホルダーを巻き込みながら、新規アクションの取組を「STYLE」として創出し、GREEN×EXPO 2027も「STYLE」の実践の場、多くの方々への発信の場として、100の取組を目指していきます。

地球1個分で暮らそう
STYLE100
CITY OF YOKOHAMA

新たな
グリーン社会へ



事業概念イメージ



ロードマップイメージ

2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 新規プロジェクト『STYLE100』

- 12月5日にキックオフイベントを市役所アトリウムで開催し、実践事例として既に市内で稼働している4つの「STYLE」を紹介しました。
- 今後も様々な「STYLE」を創出し、GREEN×EXPOの開催までに100の「STYLE」の発信を目指します。



「エコハムスタジウムProject」として、観客と共に、ゴミ分別、フードロス削減、リサイクルといったエコな観戦スタイルを横浜スタジアムで実践。



賞味期限内でありながら廃棄されてしまう専門店のパンを購入できる「食品ロス削減SDGsロッカー」。新たな挑戦として、規格外（個性派）野菜販売を年度内に開始し、更なるフードロス削減へ。



市内の小学5年生が毎年1万人以上、11回の実施で、延べ12万人以上が調査員として参加。大規模な市民参加型の生き物調査で生物多様性の保全に資する基礎データを分析。



JICAが実施する、営業スキルや栽培スキル向上によって農家の園芸所得向上を目指すプログラム。生産地と消費地が近い“都市型農業”のモデルケースとして、横浜の都市農業を世界に発信。

2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 新規プロジェクト『STYLE100』

- ・ キックオフイベントでは、プロジェクト立ち上げの発表会を開催しました。
- ・ 同日開設したWebサイト及びInstagramにより、横浜の多種多様な「STYLE」を発信・創出していくとともに、「STYLE」の募集も行っていく予定です。

地球1個分で暮らそう
STYLE 100
CITY OF YOKOHAMA



Webサイト・Instagramイメージ



12月5日 STYLE100発表会

目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画**

3 会場計画 EXP0で目指すゴール

GREEN×EXPO 2027は地球課題解決の体験・実践を通じた私たちの意識・行動変容の場

自然の持つチカラを活用した地球課題解決方法としての【ネイチャー ベースド ソリューション】【サーキュラーエコノミー】をもって、「カーボンニュートラル」「ネイチャーポジティブ」の実現を目指していきます。

その姿をGREEN×EXPO 2027の会場、展示、各種アクティビティで表現し、意識・行動変容など具体アクションに導きます。



3 会場計画 出展者等公募企業の状況

- 10月1日に「Village出展」及び「花・緑出展」の第一次内定発表会が行われ、それぞれ8件、223件の出展者が発表されました。新しいグリーン社会の実現に向けたパートナーとして、GREEN×EXPO 2027の開催に向けて、ともに準備を進めていきます。
- 現在、「テーマ営業出店」及び「協賛」の募集のほか、「Village出展」及び「花・緑出展」の第二次公募を実施中です。



10月1日 第一次内定発表会

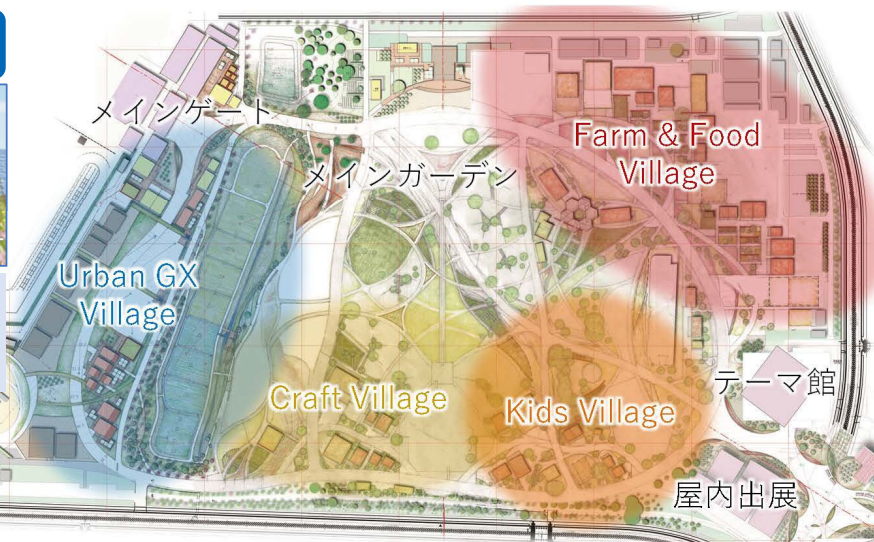
3 会場計画 イメージ図

- 今後、博覧会協会が出展者の皆様とともに、以下イメージ図を元に会場計画の更なる具体化を進めます。

Urban GX Village



脱炭素社会を目指して新たな技術を導入した未来の都市像を体感できます。



Farm & Food Village



健康を支える食と農が共存した生活と、その豊かさを実感できます。

Craft Village



自然と共に生きる知恵と技が込められた、日本の伝統産業などの温故知新を体感できます。

Kids Village



これからの地球を生きる子どもたちが、遊びを通じて自然の大切さを学びます。

SATOYAMA Village



日本の原風景である里山を体感し、生物多様性の価値を再認識します。

本郷小学校コミュニティハウスの開館時間の見直しについて【情報提供】

1 趣旨

本郷小学校コミュニティハウスの夜間時間帯の稼働率が低いことを踏まえ、特に利用が少ない木曜日と金曜日の夜間時間帯の運営を見直し、ニーズが見込まれこれまで休館日としていた水曜日の日中の時間帯の運営を開始します。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区定例会等で単位会長の皆様に情報提供をお願いします。

【単位会長】定例会等で情報提供をお願いします。

3 現在と見直し後の開館日及び運営時間

<現在>

	月	火	水	木	金	土	日
午前		○		○	○	○	○
午後		○		○	○	○	○
夜間		○		○	○	○	○

開館時間：午前 9 時～午後 9 時

休 館 日：月曜日及び水曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

<見直し後>

	月	火	水	木	金	土	日
午前		○	○	○	○	○	○
午後		○	○	○	○	○	○
夜間		○				○	○

開館時間：午前 9 時～午後 9 時（火、土、日）、午前 9 時～午後 5 時（水、木、金）

休 館 日：月曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

4 対象施設

栄区中野町 16-1（本郷小学校敷地内）

本郷小学校コミュニティハウス

5 本運用の開始日

令和 7 年 4 月 1 日

6 周知方法

本郷小学校コミュニティハウスのホームページや利用団体へのチラシ配布等により、周知していきます。

区連会 1 月定例会資料
令和 7 年 1 月 20 日
栄区地域振興課

桂山公園こどもログハウス「ロッキー」の再開について（情報提供）

1 趣旨

「夏の暑さ対策その他工事」に伴い、休館していた桂山公園こどもログハウス「ロッキー」が、令和 7 年 2 月 12 日（水）に再開しますので、お知らせします。

これまで御協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区定例会等で単位会長の皆様に情報提供をお願いします。

【単位会長】定例会等で情報提供をお願いします。

3 対象施設

栄区桂台中 1 6 - 1

桂山公園こどもログハウス「ロッキー」

4 再開日

令和 7 年 2 月 12 日（水）

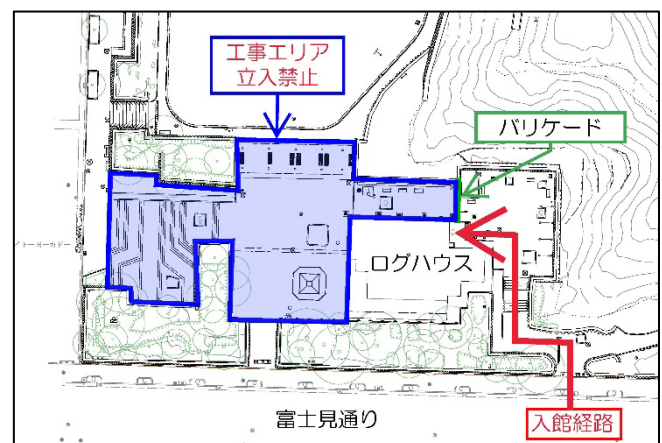
5 周知方法

施設ホームページ、近隣小学校等への情報提供により、周知していきます。

6 その他

現在、桂山公園では、栄土木事務所による「桂山公園ほか 1 公園施設改良工事（以下、「本工事」という。）」を実施しているため、ログハウスへの入口は 1 箇所のみ（右図参照）となります。本工事は令和 7 年 3 月 21 日（金）までの予定です。

本工事に関するご質問があれば、栄土木事務所（045-895-1411）までお問合せください。



担当：栄区地域振興課生涯学習支援係 宮川、井口
電話 045-894-8393 / FAX 045-894-3099
メール sa-shisetsu@city.yokohama.lg.jp

各自治会町内会長 様

栄区地域振興課長

第 35 回栄区民ロードレース大会の開催について【協力依頼】

1 事業の趣旨

区民の体力向上及び健康づくりに役立てるとともに、スポーツを通じて区民の相互の親睦を図ることを目的に、栄区民ロードレース大会を開催します。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】ご承知おきください。

【単位会長】各自治会町内会掲示版にて「参加者募集チラシ」の掲示をお願いします。

3 大会概要（詳細は募集チラシを参照ください。）

(1) 主催

栄区民ロードレース大会実行委員会、横浜市栄区
事務局：栄区地域振興課

(2) 開催日時

令和 7 年 3 月 30 日（日）8 時～12 時 ※雨天決行、荒天中止

(3) 開催場所

栄区埋蔵文化財センター及びその周辺道路（住所：横浜市栄区野七里二丁目 3 番 1 号）

(4) 対象者

各種目の出場距離を完走できる方ならどなたでも参加できます。

(5) 募集期間

令和 6 年 12 月 17 日（火）～令和 7 年 2 月 23 日（日）

【問い合わせ】

栄区民ロードレース大会実行委員会事務局
(栄区地域振興課 生涯学習支援係内)

堤、石田

電話：894-8395／FAX：894-3099

第35回

栄区民ロードレース大会

開催日時

2025.3/30日

8:00~12:00

※雨天決行・荒天中止

コース：埋蔵文化財センター周辺（横浜市栄区野七里2-3-1）

栄区以外の方の
参加もお待ち
しています！



栄区いたち川マスコット
タッチーくん

参加者全員に
タッチーくん
オリジナルグッズを
プレゼント！



1.8kmコース

3.8kmコース

10kmコース

参加者募集！

12/17火

エントリー開始！

エントリー期間

2024年12/17火 ▶ 2025年2/23日

各種目の出場距離を完走できる方ならどなたでも
参加できます（居住地は問いません）。

エントリーはこちら▶



協賛

住友電工
Connect with Innovation

株式会社信光社

有限会社 浜建

物品協賛

石井造園株式会社

宮古寿司

ユーコープ
上郷店

なにごない感動をずっと。
FANCL

KIOXIA

Daiwa House®

有限会社千田建設

栄区連合町内会

横浜建設株式会社

日本キャドテック(株)

株式会社 緑心園

ワークマン
横浜上郷店

©1999 Y.F.SPORTS C.

©1992 Y.MARINOS

主催：栄区民ロードレース大会実行委員会、横浜市栄区 主管：栄区スポーツ協会、栄区スポーツ推進委員連絡協議会
協力：栄区交通安全協会、栄区交通安全母の会、栄区青少年指導員協議会、栄区子ども会連絡協議会、栄警察署、神奈川県立柏陽高等学校、栄区済済病院、横浜市スポーツ協会
共催：横浜マラソン組織委員会

大会概要

日時 2025年3月30日(日) 8:00~12:00 コース 埋蔵文化財センター周辺(横浜市栄区野七里2-3-1)

- 各種目の出場距離を完走できる方ならどなたでも参加できます(居住地は問いません)。
- 1.8kmコースは、小学生単独で参加できます。保護者の参加は任意です(別途申込必要)。
- 10kmコースについては、80分以内を目途に完走できる方
(交通規制時間の関係上、関門を設け、11時20分までを目途にゴールが見込めない場合は途中棄権となります。)

コース	種目	定員	対象	参加費※
1.8kmコース 受付時間 8:00~8:40	小学5・6年生の部	250人	小学生5・6年生 参加者の保護者	1,500円
	小学3・4年生の部	250人	小学生3・4年生 参加者の保護者	
	小学1・2年生の部	250人	小学生1・2年生 参加者の保護者	
3.8kmコース 受付時間 8:00~9:25	中学生以上の部	100人	中学生以上	2,800円
			高校生以上	
10kmコース 受付時間 8:00~9:25	健脚の部	500人	高校生以上	
	シニアの部	50人	60歳以上(大会当日時点)	

※別途、申込手数料がかかります。

各種目男女別1位~3位(計36人)へ表彰

表彰
参加賞

- 参加者全員にタッチーくんオリジナルグッズをプレゼント
- 栄区在住・在勤・在学・在スポーツクラブの方のうち成績が上位の希望者に「横浜マラソンチャレンジ枠」付与(予定)
- 協賛企業からのプレゼントもあります!

ホームページに記載の「開催要項」及び「申込規約」をご確認いただいた上で、お申込みください。

栄区 ロードレース大会



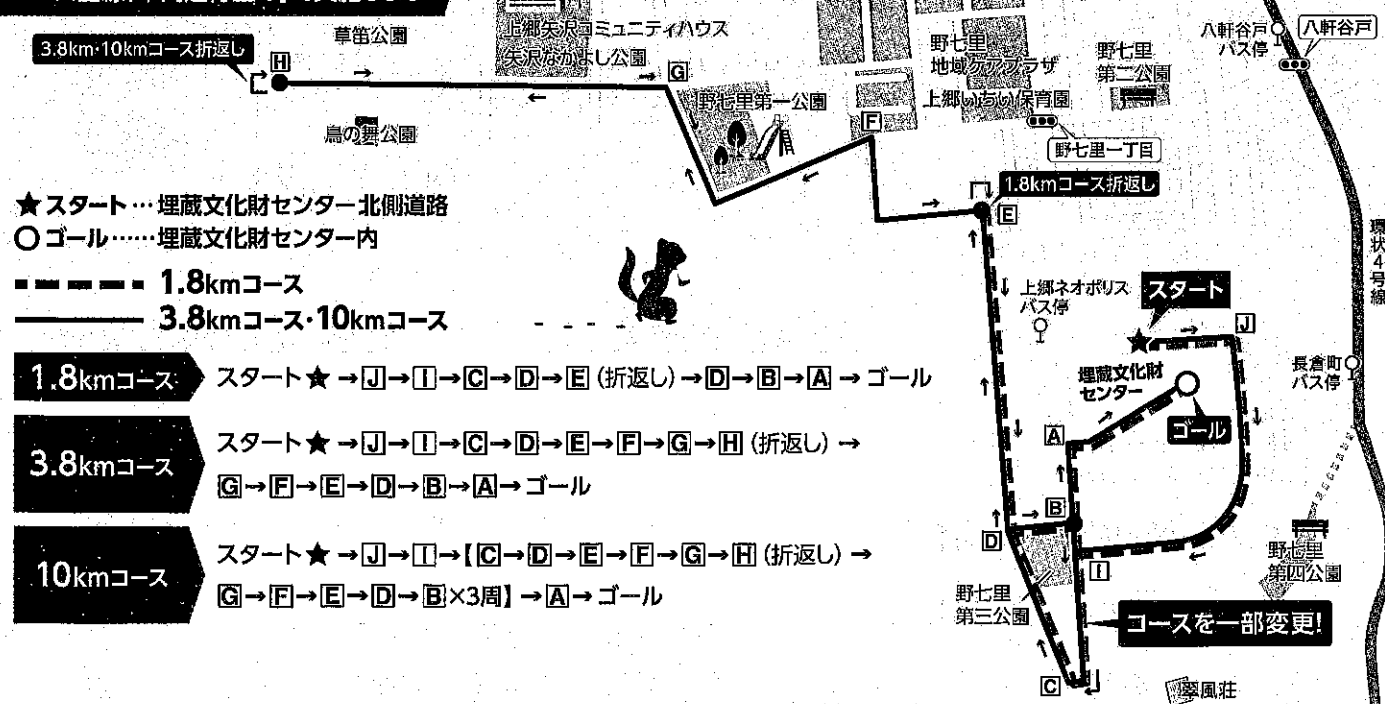
注意事項

- ①ゼッケン、計測チップ、参加賞は、3月下旬に送付する参加通知ハガキと引換えに、当日受付にてお渡しします。今年度、事前発送はありません。
- ②大会当日はお申込みいただけません。必ず締切日までに申込みください。
- ③申込締切日であっても、定員になり次第締め切ります。

- ④会場には駐車場がありません。公共交通機関を利用してご参加ください。
(大船駅発「上郷ネオポリス行」(神奈川中央交通)のバスが増便予定です。)
近隣の路上や店舗駐車場には駐車しないでください。
- ⑤自転車でお越しの場合は、埋蔵文化財センター敷地内設置の臨時駐輪場をご利用ください。
- ⑥大会終了後、完走者にはWEB記録証を発行します。

コースマップ

コース全線「車両通行止め」で実施します



参加申込に関するお問い合わせ

RUNETサポートセンター

お問い合わせフォーム▶



大会に関するお問い合わせ

栄区民ロードレース大会 実行委員会事務局(栄区役所地域振興課内)

TEL/045-894-8395(平日8:45~17:00) FAX/045-894-3099

E-mail/sa-road@city.yokohama.lg.jp

令和 6 年度栄区自治会町内会長感謝会の開催について（情報提供）

永年にわたり自治会町内会長として、地域の発展のためにご尽力いただいている方々と自治会町内会長の皆様の日頃のご尽力に対し感謝の意を表したく、栄区自治会町内会長感謝会を開催いたします。

【区 連 長】ご出席をお願いいたします。

【地区連長】ご出席をお願いいたします。

【単位会長】ご出席をお願いいたします。

1 日 時 令和 7 年 2 月 25 日（火）午後 3 時 45 分から午後 5 時 30 分まで

2 会 場 栄区民文化センターリリス（住所：小菅ヶ谷 1 丁目 2－1）

表彰式：リリスホール 感謝会：レストランソバーニ

3 永年在職被表彰者

在職 20 年（市長表彰） 1 名

お名前	所属連合	自治会町内会名
細田 利明 様	本郷中央	フローラ桂台自治会

在職 15 年（市長表彰） 1 名

お名前	所属連合	自治会町内会名
引野 憲治 様	豊田	百合ヶ丘自治会

在職 10 年（市長感謝） 1 名

お名前	所属連合	自治会町内会名
長島 飛鳥 様	本郷第三	中野町内会

在職 5 年（区長感謝） 3 名

お名前	所属連合	自治会町内会名
飯島 賀寿男 様	豊田	飯島町内会
折田 忠温 様	笠間	笠間西南町内会
古市 由美 様	本郷中央	公田ハイツ自治会

4 被表彰者・出席者の皆様への御案内は、1 月末を予定しております。

担当：栄区地域振興課 出丸、三國

電話 894-8391 FAX 894-3099

E メール sa-chishin@city.yokohama.jp